

取扱説明書

《特記事項》

確認事項について

- ・乙は、乙の責任と負担において、契約車両の寸法を確認し、以下の駐車場の入庫制限寸法内に収まっていることを確認した上で使用します(買換え等による車両変更含む)。
※全長 5.05m 以下、全幅 1.85m 以下※サイドミラー含む、タイヤ外幅 1.7m 以下、全高 1.55m 以下、重量 1.6t 以下、最低地上高 11 cm以上
- ・操作鍵の不携帯等(車内の置忘れも含む)により車の出入庫ができないことについて甲は対応することができません。
- ・左ハンドルの車両は場内の構造上ご使用できません。

使用停止について

- ・甲は、突発的な停電、集中豪雨等による水害、駐車場施設の故障、駐車場施設のメンテナンス、その他本駐車場施設の利用が出来ないと判断した場合、予め乙に連絡または、事前に駐車場に掲示するものとし、駐車場施設の利用を停止することが出来るものとします。但し、非常の場合または甲の定休日、営業時間外等、甲が予めこの旨を通知連絡出来ないときは事後速やかに乙に報告するものとします。
- ・甲は、東急桜丘町ビルの電気設備点検の際は、予め、乙に連絡または、事前に駐車場に掲示するものとし、駐車場施設の利用を停止することが出来るものとします。
- ・甲は、利用停止による乙の被った損害等については責めを負わず、乙は甲に対して金銭その他一切の請求は出来ないものとします。

契約の消滅について

- ・天災地変その他不可抗力により本駐車場の全部または一部が滅失若しくは破損等し、本駐車場施設の使用が出来なくなった場合には、本契約は当然消滅し、これによって被った損害等については甲・乙共に相手方に対して賠償の責を負わないものとします。

操作鍵について

- ・本契約の締結と同時に、甲は乙に対して操作鍵を貸与するものとします。乙は入出庫の際に操作鍵を必ず携帯し、本駐車場を利用するものとします。
- ・乙は本契約の終了後、直ちに甲へ操作鍵を返却するものとします。
- ・乙の不注意により、操作鍵を破損、汚損、紛失等した場合には、再発行手数料として1個につき、1,500円(別途消費税等)を甲に対し支払うものとします。なお、再交付に要する期間、乙は本

駐車場が利用出来ない場合もある事について予め了承するものとします。

- ・乙は、操作鍵を破損、汚損、紛失等により使用できなくした場合、甲へ速やかに連絡しなければなりません。

操作要領説明書について

- ・甲は、本契約締結後すみやかに本駐車場の操作説明書類を交付するものとします。
- ・乙は、本駐車場使用前に、操作説明書類を熟読し、記載された注意事項や操作手順を遵守し使用するものとします。

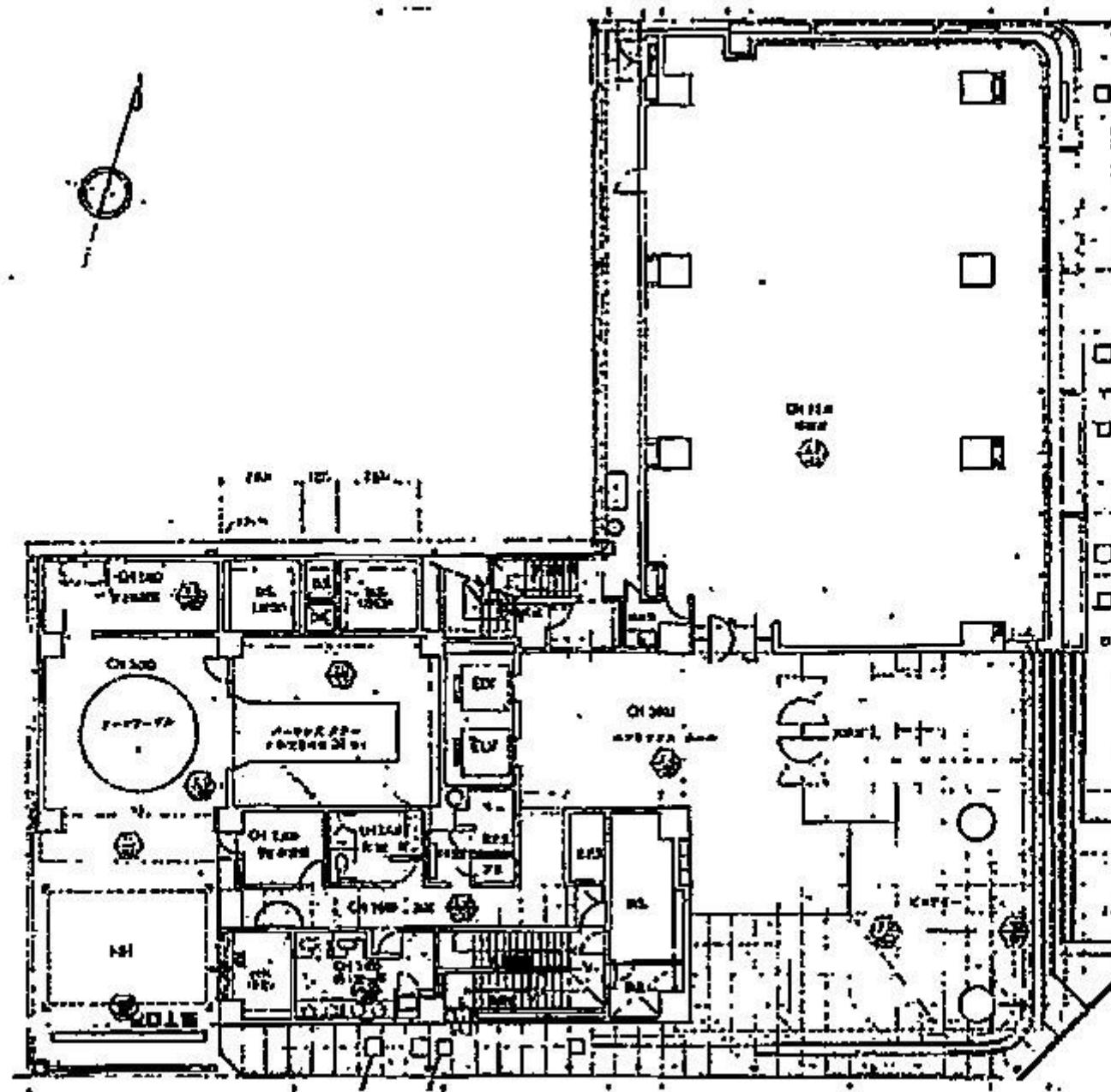
《注意事項》

初回の入庫について

ご契約後は現況有姿でのお引渡しとなります。リアオーバーハング、タイヤ幅、最低地上高等車検証には記載の無いサイズもあることから、使用するお車のサイズが駐車場のサイズ制限内かどうかは必ず現地にてご自身でご確認ください。

初回入庫時には事前にサイズを確認の上、十分注意をして入出庫をお願いいたします。試し入れ時や契約後に事故等が発生した場合、貸主及び管理会社並びに保証会社では一切の責任を負いかねます。

以上



機械式

【東急桜丘町ビル駐車場 操作マニュアル】

入庫

①車の方向転換

- ・ターンテーブルの中央に車を停止⇒降車
- ・操作盤にキーを挿入し「入」に回す
- ・操作盤のターンテーブル【右】または【左】を押し、車両を回転させ、入庫トレー側に向けたら、【停止】を押して回転を止める



②入庫トレーの呼び出し

- ・操作盤のキーが「入」に回った状態で
暗証番号を入力→呼出ボタンを押す



③車両入庫 ※前向き駐車

- ・空きパレット到着後、前進徐行運転で進入

入庫指示灯の停車が点灯する位置でストップ

※入庫前にドアミラーをたたむ、
アンテナを下ろすこと

※同乗者がいる場合は入庫前に降車
させること



④車両格納

- ・運転者場外退出
- ・操作盤のキーを「切」に回して、
オートドアを閉める

※必ず扉が閉まったことを確認

出庫

①出庫トレーの呼び出し

- ・操作盤にキーを挿入し「入」に回す
暗証番号を入力→呼出ボタンを押す



②機械式駐車場外への退出

- ・実車パレット到着後、車を後退徐行運転で
パレット外へ出す
- ・ターンテーブルの中央に車を停止⇒降車



③車の方向転換

- ・操作盤のターンテーブル「右」または
「左」を押し、車両を回転させ、道路側に
向けたら、「停止」を押して回転を止める



④出庫完了

- ・操作盤のキーを「切」に回して、
オートドアを閉める

※必ず扉が閉まったことを確認

※本内容は簡易マニュアルとなりますので、詳細は「取扱説明書」にてご確認をお願いいたします。

緊急連絡先：日精株式会社 東京西サービスセンター 03-3436-1819

駐車場管理者：東急ライフィア株式会社

NISSEI

Parking System

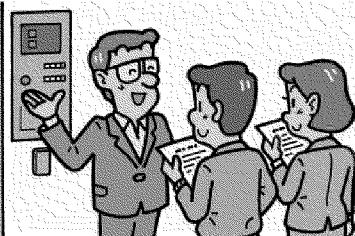
取扱説明書

契約利用者用

駐車場ご利用時の注意事項

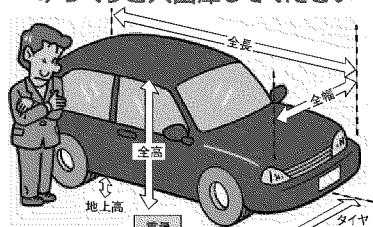
いつも安全・安心にご利用いただくために
以下の注意事項をもう一度確認願います

1 取扱説明を受けましたか？



操作される方は、管理責任者となります。
取扱説明書を熟読し、必要な知識、取扱い上の注意事項を厳守してください。

2 車のサイズを確かめて、 ゆっくりと入出庫してください



全長・全幅・全高・重量、特に車検証に記載のない
タイヤ外間幅・最低地上高にも注意してください。

3 アンテナ・ドア・ミラーをたたみ、 ロックしてください



厳守いただけなければ、
次のご利用者の方が入出庫できなくなります。

4 乗込口内の無人確認



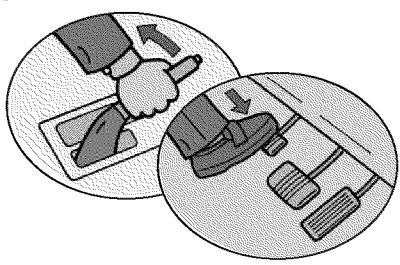
ドアが開いている場合、庫内に人がいることがありますので目視で確認してください。

5 運転者以外の方は庫内に入らないでください



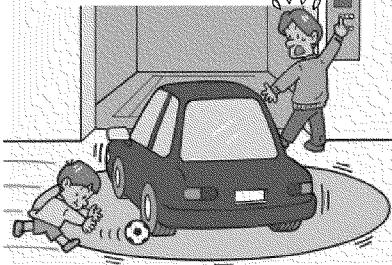
同乗者の乗降は、乗込口の外で行ってください。

6 パーキングブレーキを確認



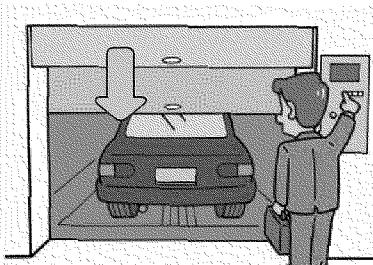
停車中や入庫後は、パーキングブレーキを確実にかけてください。

7 周囲の確認



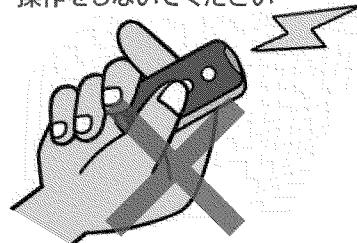
ターンテーブルの周囲に人がいないことや障害物がないことを確認の上操作してください。

8 入出庫後は扉を閉じてください



庫内の安全を確認の上、入口の扉を閉じてください。

9 駐車場運転中は車のリモコン操作をしないでください



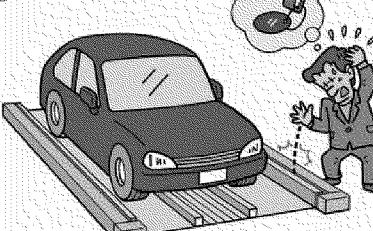
機器の誤動作や車のロック解除によって事故の原因となります。

10 車の改造・突起物のある車は 入庫できません



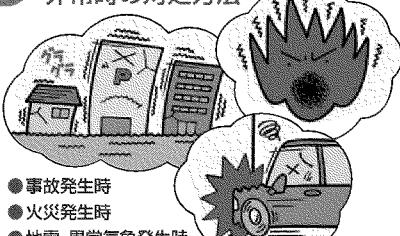
入庫可能な車種(型式)であっても、改造や突起物によって内部で機器と接触する危険がありますので入庫できません。

11 落し物に注意



隙間から物を落とさないように注意してください。
落とした場合は、必ず管理者またはサービスセンターに連絡してください。

12 非常時の対処方法



上の様な状況が発生した場合、すぐに機械の運転を中止し、管理者及びサービスセンターに連絡してください。

MGパーキング

建設大臣認定特殊駐車装置 第110号

目 次

1. はじめに

1. 1 本書の目的	1-1
1. 1. 1 本書の構成	1-1
1. 1. 2 表記について	1-2

2. 機械の概要

2. 1 主要構造	2-1
2. 1. 1 パーキング全体	2-1
2. 1. 2 乗込ロ	2-2
2. 2 機械の動作	2-3
2. 2. 1 入庫時の動作	2-3
2. 2. 2 出庫時の動作	2-4
2. 3 設備の名称と働き	2-5
2. 3. 1 各種設備	2-5
2. 4 操作盤の各部の名称と働き	2-12
2. 4. 1 操作盤全体	2-12
2. 4. 2 ボタン操作部	2-13
2. 4. 3 キースイッチ操作部	2-15

3. 安全

3. 1 契約利用者の心得	3-1
3. 1. 1 安全確保	3-1
3. 1. 2 取扱方法の遵守	3-3
3. 1. 3 パーキング利用上の注意	3-4
3. 2 災害などの非常事態の対処	3-5
3. 2. 1 地震発生時の対処	3-5
3. 2. 2 火災発生時の対処	3-5
3. 2. 3 浸水時の対処	3-5
3. 3 乗込ロに閉じ込められることのないために	3-6
3. 3. 1 人身事故の防止	3-6

4. 入庫車の条件

4. 1 入庫可能サイズ、重量	4-1
4. 1. 1 入庫可能な車のサイズと重量	4-1
4. 2 入庫車に対する制限	4-2
4. 2. 1 制限内容	4-2

5. 入庫方法

5. 1 入庫方法の概要	5-1
5. 1. 1 入庫手順	5-1
5. 2 入庫前の確認	5-2
5. 2. 1 確認事項	5-2
5. 3 トレーの呼び出し	5-4
5. 3. 1 暗証番号呼び出し	5-4
5. 4 乗込口への進入	5-6
5. 4. 1 進入手順	5-6
5. 5 入庫後の確認	5-7
5. 5. 1 確認事項	5-7
5. 6 入庫の完了	5-9
5. 6. 1 暗証番号呼び出しの入庫完了	5-9
5. 6. 2 専用キー取り扱いの注意	5-10
5. 7 音声案内注意放送	5-11
5. 7. 1 音声案内注意放送の種類と内容	5-11

6. 出庫方法

6. 1 出庫方法の概要	6-1
6. 1. 1 出庫手順	6-1
6. 2 トレーの呼び出し	6-2
6. 2. 1 暗証番号呼び出し	6-2
6. 3 パーキング外への退出	6-4
6. 3. 1 退出手順	6-4
6. 4 車の方向変換	6-5
6. 4. 1 ターンテーブルの操作	6-5
6. 5 出庫の完了	6-6
6. 5. 1 暗証番号呼び出しの出庫完了	6-6

7. 運転の取消

7. 1 入出庫運転の取消	7-1
7. 1. 1 暗証番号呼び出しの取消操作	7-1

8. 運転不能時の対処

8. 1 最初の確認事項	8-1
8. 1. 1 操作盤の表示の確認	8-1
8. 2 異常発生時の運転不能への対処	8-2
8. 2. 1 対処方法	8-2
8. 3 緊急停止ボタンを押したときの対処	8-3
8. 3. 1 対処方法	8-3
8. 4 エラー表示への対処	8-4
8. 4. 1 復旧可能なエラー表示への対処	8-4

1 はじめに

1. 1 本書の目的	1-1
1. 1. 1 本書の構成	1-1
1. 1. 2 表記について	1-2

1.1 本書の目的

本書は、機械式駐車装置（以下、「パーキング」と称します）の契約利用者を対象とし、パーキングの取り扱いについて説明しています。パーキングの運転操作や取り扱いについては、管理責任者、または弊社の係員による説明を受けられるとともに、本書を熟読し、充分に理解してからご使用ください。

1.1.1 本書の構成

本書は1～8の章で構成しています。

各章と内容は、以下のとおりです。

1. はじめに

本書の目的と内容について

2. 機械の概要

パーキングの概要、構造、動作、及び各設備の働きについて

3. 安全

パーキングの安全運転、及び維持管理するための心得と注意事項について

4. 入庫車の条件

パーキングに入庫できる車のサイズ、重量、及び入庫車に対する制限について

5. 入庫方法

車をパーキングに入庫する手順と操作方法について

6. 出庫方法

車をパーキングから出庫する手順と操作方法について

7. 運転の取消

パーキングの取消運転をする手順と操作方法について

8. 運転不能時の対処

安全装置による異常の検知、及び誤動作などによるエラーが発生したときの対処方法について

1.1.2 表記について

本書では、パーキングの取り扱いについて、次のマークと定義で危険の程度を区分し、パーキングを安全に取り扱っていただくための注意事項を記述しています。



死亡または重傷に至る恐れがある取り扱いについての注意事項



人身への負傷、および入庫車・機械・設備を損傷させる恐れがある取り扱いについての注意事項



入庫車・機械・設備を損傷する恐れがある取り扱いについての注意事項

補 足

取り扱い中に起こる可能性がある不都合についてのアドバイス、またはパーキングを運転することができなくなる恐れがある取り扱いについての注意事項

その他の記号

〈 〉: 操作盤のキースイッチのモード

【 】: 操作盤の押しボタンの名称

その他の表記

『MT車』: マニュアルトランスマッision車、クラッチ操作が必要な自動車。従来から存在する、1～4（5・6）速とバックギアの組み合わせで走行する自動車。

『AT車』: オートマチックトランスマッision車、クラッチ操作が不要な自動車。自動車によっては無段変速式やシーケンシャル変速式等があり、それらの自動車を総称しています。

2

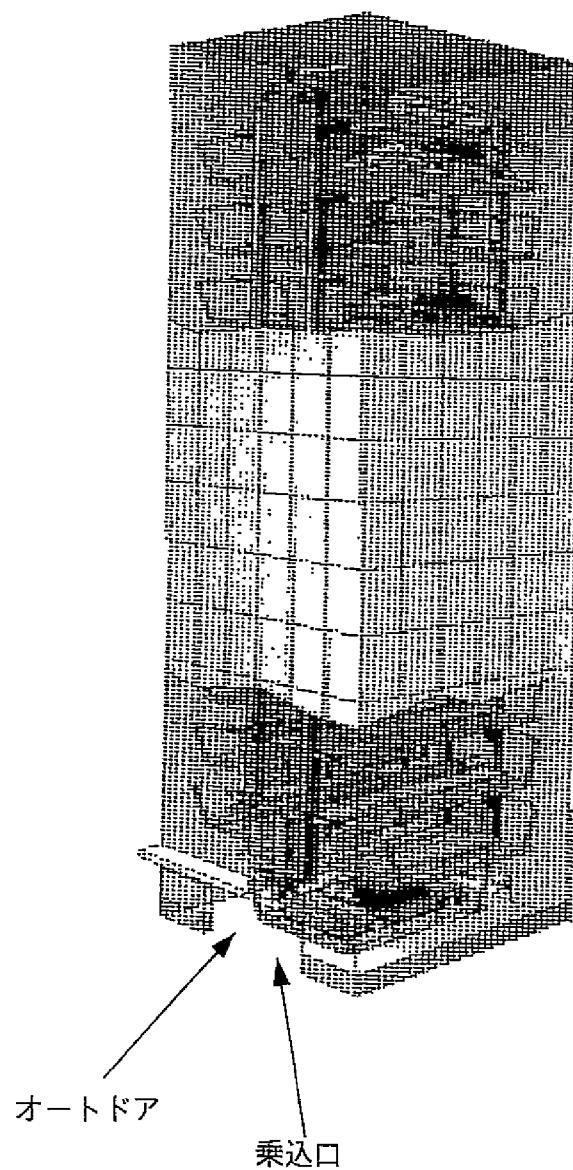
機 械 の 概 要

2. 1	主要構造	2-1
2. 1. 1	パーキング全体	2-1
2. 1. 2	乗込口	2-2
2. 2	機械の動作	2-3
2. 2. 1	入庫時の動作	2-3
2. 2. 2	出庫時の動作	2-4
2. 3	設備の名称と働き	2-5
2. 3. 1	各種設備	2-5
2. 4	操作盤の各部の名称と働き	2-12
2. 4. 1	操作盤全体	2-12
2. 4. 2	ボタン操作部	2-13
2. 4. 3	キースイッチ操作部	2-15

2.1 主要構造

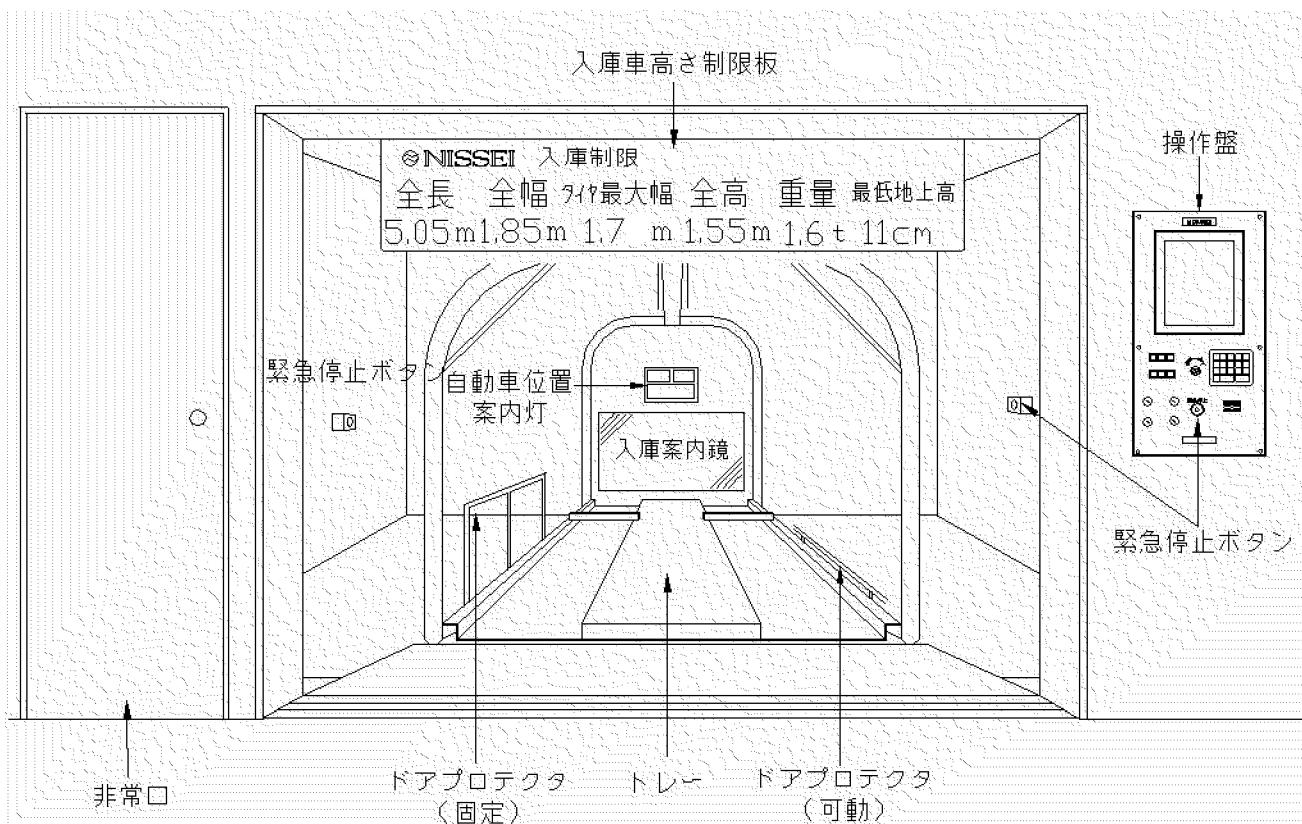
2.1.1 パーキング全体

パーキングに格納することができる車は、入庫可能なサイズ、重量以内の車に限ります。但し、入庫可能なサイズ、重量以内でも入庫できない車もあるため、4.「入庫車の条件」を参照してください。



本図はMGパーキングの概念図であり型式、レイアウトにより異なります。

2.1.2 乗込口

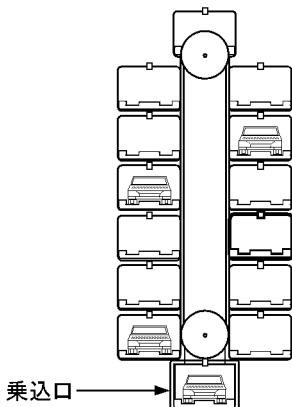


本図はMGパーキングの概念図であり型式、レイアウトにより異なります。

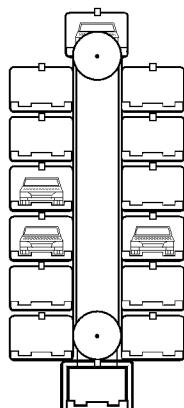
2.2 機械の動作

2.2.1 入庫時の動作

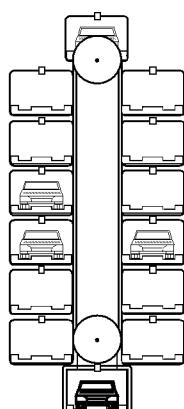
操作盤で入庫操作を行うと、機械は次のように動作し、車を入庫します。



操作盤で入庫操作をすると、空トレーを乗込口に搬送するために、駐車室に格納されているトレーが循環します。



呼び出されたトレーは乗込口に運ばれます。

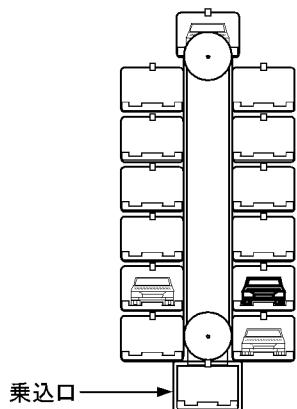


乗込口のトレーに入庫した車は、操作盤で次の入出庫操作をしたときに駐車室内を循環します。

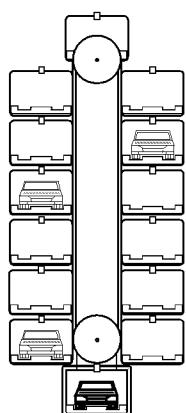
本図はMGパーキングの概念図であり型式、レイアウトにより異なります。

2.2.2 出庫時の動作

操作盤で出庫操作を行うと、機械は次のように動作し、車を出庫します。



操作盤で出庫操作をすると、出庫する車を載せたトレーを乗込ロに移動させるために、駐車室に格納されているトレーが循環します。



呼び出されたトレーは乗込ロに運ばれます。

本図はMGパーキングの概念図であり型式、レイアウトにより異なります。

2.3 設備の名称と働き

パーキング内には、以下の各設備があります。

2.3.1 各種設備

■ 自動車位置案内灯

車をトレー内に停止するための指示を表示します。
表示内容を確認し、車を誘導してください。

「前進」

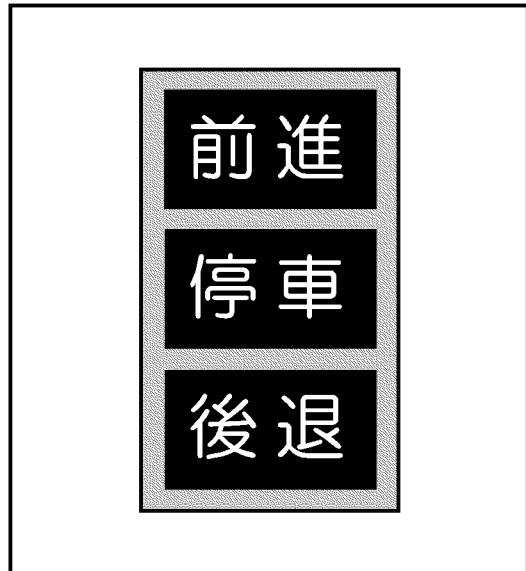
車がトレーに進入し、前進が必要なときに点灯します。

「停車」

車がトレー内の正常な位置に達したときに点灯します。

「後退」

車がトレーの定位置より前に行き過ぎているときに点灯します。また、必要に応じ後退を促すときにも点灯します。



■ 入庫車高さ制限板

 NISSEI	入庫制限				
全長	全幅	タイヤ最大幅	全高	重量	最低地上高
5.05m	1.85m	1.7 m	1.55m	1.6t	11cm

入庫車高さ制限板は、入庫可能な車高にあわせて取り付けけてあります。

⚠ 警告

入庫車高さ制限板に触れる車は絶対に入庫させないでください。

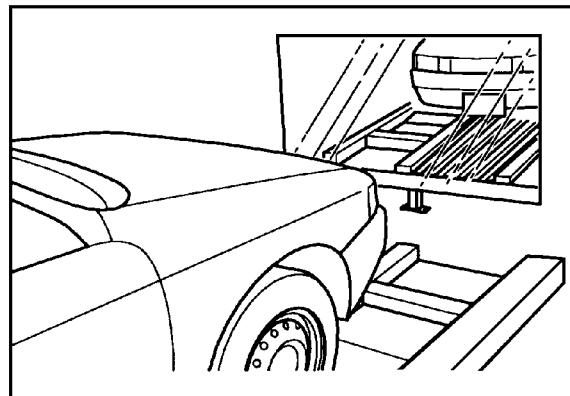
入庫車高さ制限板を超える車を入庫すると、トレーを搬送するときに車が横転したり、機械の破損事故が発生する恐れがあります。

⚠ 注意

入庫車高さ制限板に頭をぶつけないように、また、手で触れないようにしてください。

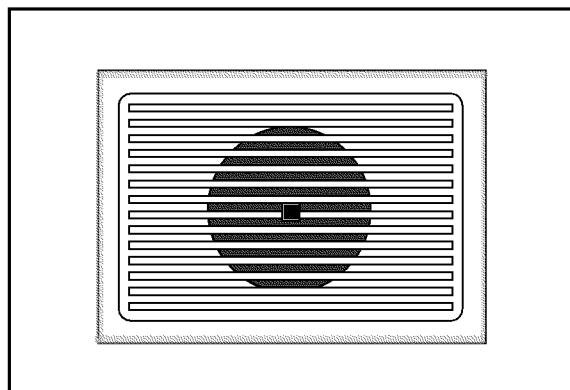
■ 入庫案内鏡

鏡に車の進入状態をうつし出し、入庫を容易にします。



■ スピーカー

利用者が実施する必要がある確認事項などを音声案内します。

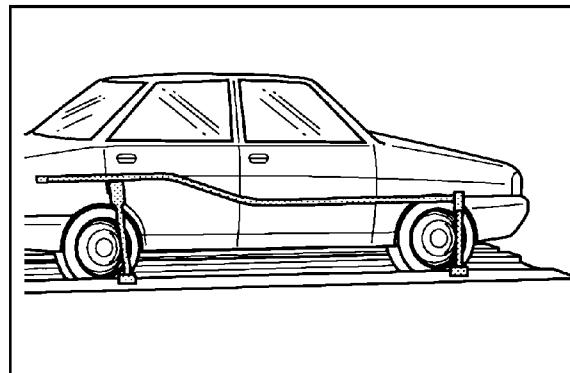


■ ドアプロテクタ

出入後の退出の際、ドアの閉め忘れや半ドアなどでパーキングの運転中にドアが開いたとき、ドアがトレーからはみ出して起きる事故を防止します。ドアが開いているためドアプロテクタが起き上がらないときは、エラーが発生し、パーキングを運転することができなくなります。

!**注意**

ドアプロテクタはバックドアやトランク、ガルウィングなどの特殊なドアのはみ出しを防止することができないため、パーキングを運転するときは、必ず目視ですべてのドアが閉まっていることを確認してください。



■ 車止め

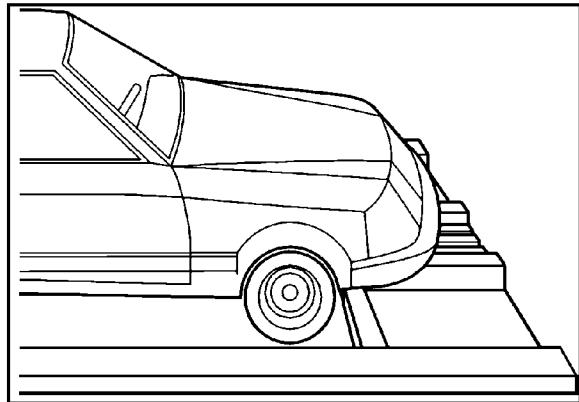
車をトレー内の正常な位置に停止させるための装置です。車のタイヤが車止め内に納まる位置に停止させてください。

車の種類によっては、車止めにタイヤを納めるとトレーからはみ出することがあります。トレーからはみ出していると自動車位置案内灯の「後退」が点灯します。車を停止させるときは、自動車位置案内灯の、「後退」が消灯していることを確認してください。

⚠️ 警告

パーキングを運転するときは、必ず目視でタイヤが車止めに納まっていること、および車の前後左右がトレー内に納まっていることを確認してください。車の前後左右がトレー内に納まっていないと、パーキングの運転中に機械と接触するなどの事故が発生する恐れがあります。

車止めによる停止であっても、車の前後がトレーからはみ出しているときは、その車は絶対に入庫しないでください。



■ 光電装置

トレー上の車の有無、トレーからのはみ出し、乗込口の人や障害物などを検知します。

光電装置は、光を送る側（投光器）と光を受ける側（受光器）があり、光をさえぎることで検知します。

トレーからのはみ出しや、人や障害物を検知しているときは、パーキングを運転することができません。

光電装置は、位置によって検知する内容が異なります。

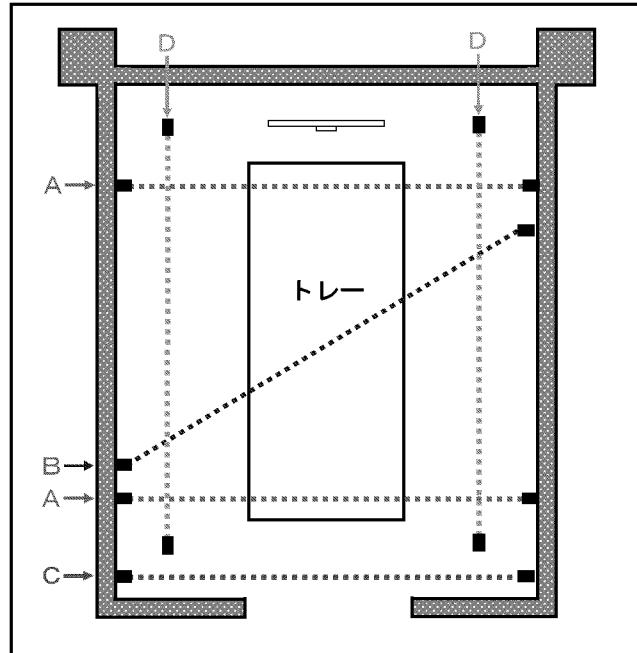
光電装置の位置と検知内容を示します。

A : トレーからの車のはみ出しを検知

B : トレーに車があることを検知

C : 乗込口への入室を検知

D : 乗込口内通路の人を検知



⚠ 危険

光電装置の光をさえぎらない場所にいる人や障害物を検知することができません。また、車内にいる人も検知することができません。パーキングを運転するときは、必ず目視で乗込口や車内に人がいないこと、および障害物がないことを確認してください。

⚠ 注意

ドアミラーのトレーからのはみ出しが検知できないため、ドアミラーを格納してから入庫してください。また、パーキングを運転するときは、必ず目視でドアミラーがトレーからはみ出していないことを確認してください。

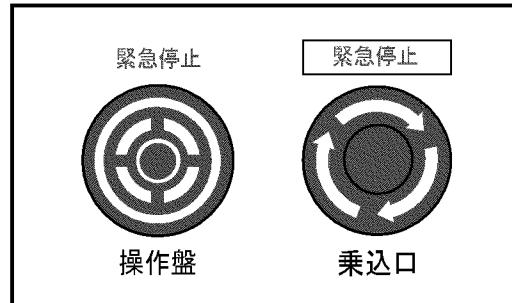
本図は概念図であり、型式・レイアウトにより異なります。

■ 緊急停止ボタン

非常事態、異常事態が発生したとき、パーキングの運転を緊急停止させるための押しボタンです。操作盤に1個、乗込口に2個あります。

!**注意**

非常時、異常時以外は使用しないでください。



■ 非常口

非常口にはセンサーがあり、非常口が開いていると、パーキングを運転することができません。また、パーキングの運転中に非常口が開くとパーキングは緊急停止します。

!**注意**

非常口は避難用出口のため、通常の出入口として使用しないでください。



■ 制御盤

パーキング全体の電源を供給し、パーキングの運転を制御します。

!**注意**

絶対に手を触れないでください。感電、けがの恐れがあります。

■ 消火設備

火災が発生したとき、不燃性ガスを放出し、パーキング内の消火を行ないます。詳しくは、消防設備の取扱説明書を参照してください。

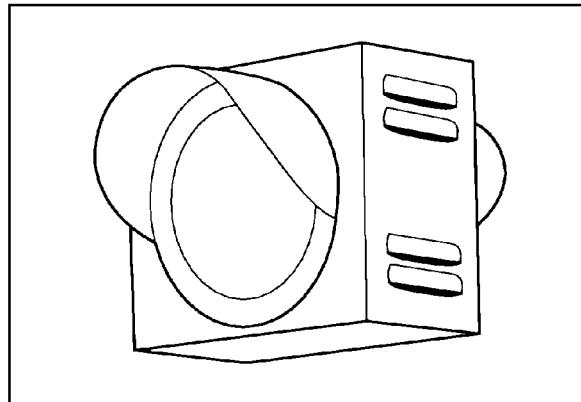
■ 道路信号灯

パーキング付近の通行人や車に、パーキングから出庫する車があることを赤ランプとブザーで知らせます。駐車場から車路に出る場所に設置されています。

乗込口より車を出庫し、ターンテーブルを回転させ停止すると赤ランプが点灯しブザーが作動します。

一定時間経過後、自動的に赤ランプが消灯し、ブザーも停止します。

また、出庫するトレーを呼び出すと、出庫準備中を知らせるために、赤ランプが点灯します。

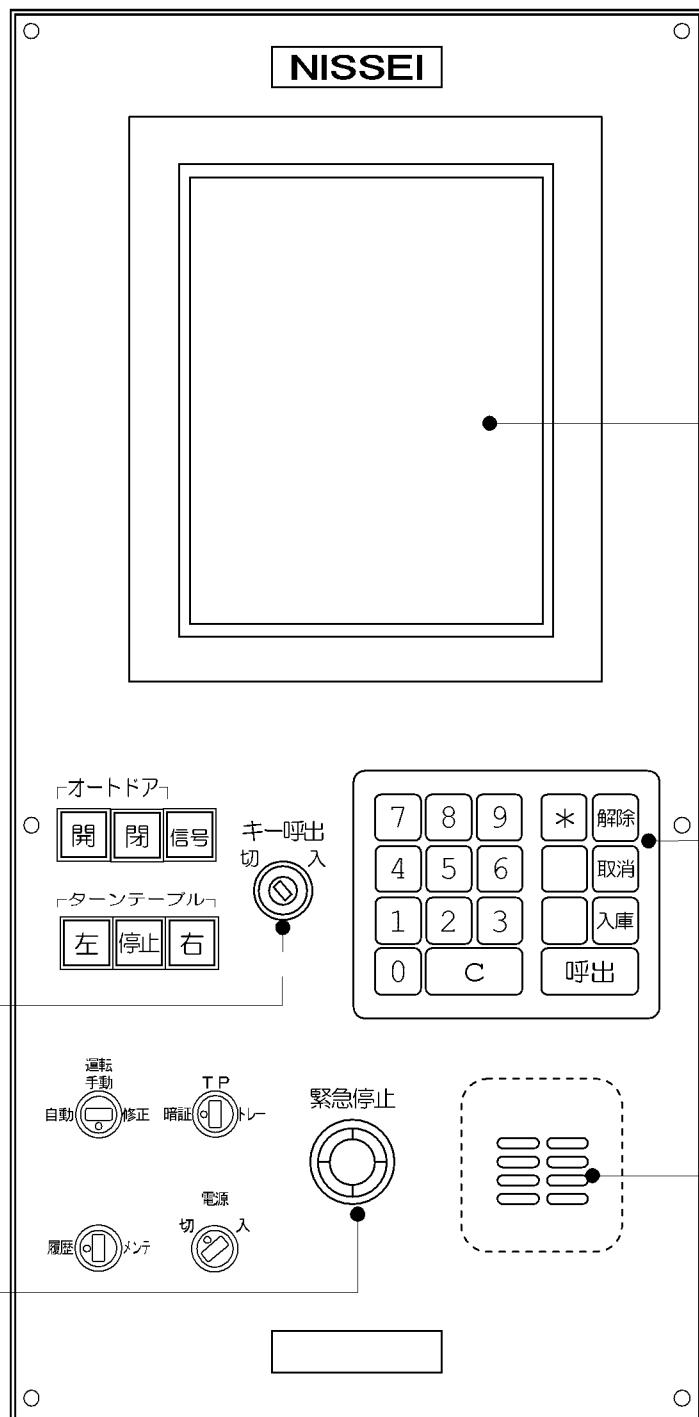


補 足

道路信号灯は出庫時に自動的に作動しますが、操作盤の【信号】ボタンを押して任意に作動させることもできます。

2.4 操作盤の各部の名称と働き

2.4.1 操作盤全体



暗証番号呼出用

キースイッチ

詳細は 2.4.3 「キースイッチ操作部」を参照してください。

緊急停止ボタン

非常事態、異常事態が発生したとき、パーキングの運転を緊急停止させるための押しボタンです。

ディスプレイ

パーキングの運転状況やメッセージを表示します。先の尖ったもの(ボールペン等)でのタッチ操作は絶対にしないでください。

ボタン操作部

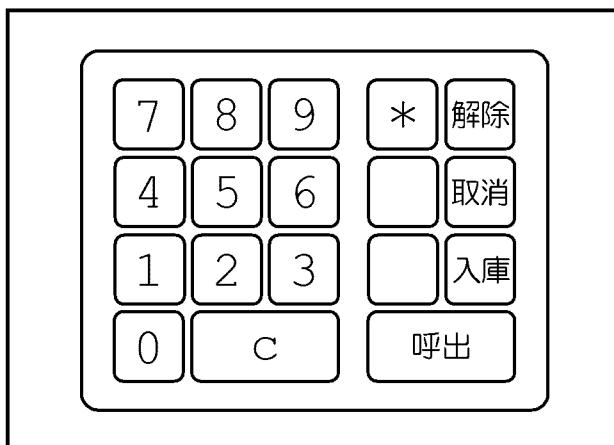
詳細は 2.4.2 「ボタン操作部」を参照してください。

スピーカー

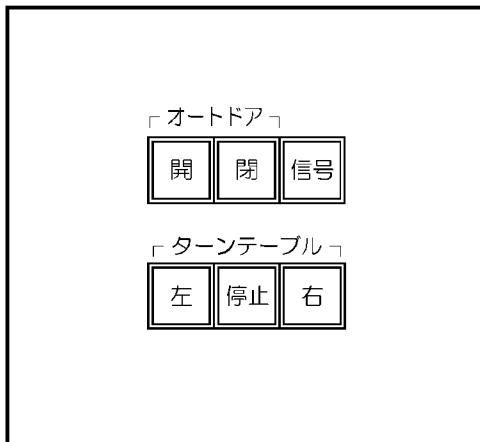
入出庫時の確認事項をアナウンスします。

2.4.2 ボタン操作部

パーキングの運転を行うための操作パネルです。



操作ボタン	名 称	働 き
0 ~ 9	番号指定ボタン	暗証番号を入力するときに使用します。
C	クリアボタン	入力した番号をクリアするときに使用します。
解除	ロック解除 ボタン	暗証番号による操作方式（暗証番号呼び出し）では使用しません。
取消	取消ボタン	運転中のパーキングを途中で停止させ、呼び出しを取り消すときに使用します。
入庫	入庫ボタン	暗証番号による操作方式（暗証番号呼び出し）では使用しません。
*	*マークボタン	弊社サービス員によるメンテナンス時の専用ボタンです。 不用意に触らないでください。
□	無記名ボタン	弊社サービス員によるメンテナンス時の専用ボタンです。 不用意に触らないでください。
呼出	呼出ボタン	パーキングの運転を開始するときに使用します。



操作ボタン	名 称	働 き
	オートドア 開ボタン	オートドア閉中（閉まり切る前まで）の途中で再度開けるときに使用します。
	オートドア 閉ボタン	暗証番号による操作方式（暗証番号呼び出し）では使用しません。
	道路信号灯 作動ボタン	道路信号灯を任意に作動させるときに使用します。また、作動している道路信号灯を任意に停止させるときに使用します。
	ターンテーブル 左回転ボタン	ターンテーブルを左回転させるときに使用します。
	ターンテーブル 停止ボタン	回転中のターンテーブルを任意の位置で停止させるときに使用します。
	ターンテーブル 右回転ボタン	ターンテーブルを右回転させるときに使用します。

⚠ 注意

押ボタン操作は、ゆっくりと確実に行ってください。
特に番号操作は、あまり早すぎると正確に入力されないことがあります。
表示を確認して不正の場合、【C】キーを押して再操作してください。

2.4.3 キースイッチ操作部

操作キー	名 称	働 き
キー呼出 切 入 	暗証番号呼出用 キースイッチ	暗証番号を入力するときに、必ず〈入〉としてください。 出入庫完了後に〈切〉にすると、オートドアが閉じます。 parkingの運転中に〈切〉にすると、呼び出しが取り消されます。（『7. 1 入出庫運転の取消』を参照） 専用キーは〈入〉の状態では抜けません。必ず〈切〉にしてから抜いてください

3

安 全

3. 1 契約利用者の心得	3-1
3. 1. 1 安全確保	3-1
3. 1. 2 取扱方法の遵守	3-3
3. 1. 3 パーキング利用上の注意	3-4
3. 2 災害などの非常事態の対処	3-5
3. 2. 1 地震発生時の対処	3-5
3. 2. 2 火災発生時の対処	3-5
3. 2. 3 浸水時の対処	3-5
3. 3 乗込口に閉じ込められることのないために …	3-6
3. 3. 1 人身事故の防止	3-6

3.1 契約利用者の心得

契約利用者は、安全確保と機械・設備を維持管理するため、以下の事項を必ず守ってください。

3.1.1 安全確保

- パーキングを運転するときやオートドアを閉じるときは、乗込口の無人を目視で確認すること

！危険

必ず、乗込口に人がいないことや障害物がないことを目視で確認してください。
機械が人や障害物と接触し、事故が発生する恐れがあります。

- 契約利用者以外の人が乗込口に入室しないこと

！警告

契約利用者以外の人が入室すると、乗込口の安全確認がむずかしくなり、同乗者がいるのにオートドアを閉めてしまうなどのトラブルにつながる恐れがあります。

オートドアの前で停止し、同乗者を降車させてください。

- 乗込口では、荷物の積降し、車の整備、洗車などをしないこと

！警告

乗込口内は足場が悪いため、乗込口で荷物を積んだり降ろしたりしないでください。転倒などによるけがや、ドアの閉め忘れ、荷物の置き忘れにつながる恐れがあります。

また、整備や洗車を行なうと、工具の置き忘れや機械の故障につながる恐れがあります。

- 地震、火災などの非常事態が発生したときは、速やかに避難すること

！危険

乗込口に人がいるときに地震や火災などが発生すると、転んだり設備と接触して、けがをする恐れがあります。特に火災の発生時には、消火装置が起動すると、オートドアが閉まり、不燃性ガスを噴出するため、窒息死につながる恐れがあります。

オートドアが閉じてしまったときは、非常口から避難してください。

- 乗込口への入出庫時は、徐行運転をすること

！危険

入出庫時は必ず徐行運転をしてください。

徐行運転をしないと、人身事故や衝突事故につながる恐れがあります。

入庫車をオートドアの前で停止し、誤発進しないようにサイドブレーキを完全にかけてください。

！注意

本パーキングは前進入庫専用駐車場です。

後退で入庫しないでください。後退で入庫すると正規に停車できず、事故が発生する恐れがあります。

■ その他特に注意すべきこと

⚠ 危険

小さなお子様がいらっしゃるときは、以下の点に十分な注意喚起を行ってください。

- ・パーキング操作時にはお子様から目を離さないこと
- ・お子様にパーキング操作させないこと
- ・お子様を一人で乗込室内に入らせないこと
- ・お子様を乗込室内で遊ばせないこと

3.1.2 取扱方法の遵守

■ 異常事態が発生したときは、緊急停止ボタンを押して機械を停止させること

機械の異常や事故が発生したときは速やかに、緊急停止ボタンを押して、機械を緊急停止させてください。また、速やかに管理責任者、またはサービスセンターへ連絡してください。

■ 入庫可能車以外の車を入庫しないこと

!**注意**

入庫可能なサイズ、重量を超えている車を絶対に入庫しないでください。

トレーからのはみ出しにより、パーキングを運転することができなくなります。

また、機械と接触して事故が発生する恐れがあります。

■ 操作手順にしたがって操作すること

!**注意**

契約利用者は個別の管理責任を持つことになります。本書を熟読して操作してください。

間違った操作を行なうと、機械の運転が停止したり、設備を破損する恐れがあります。

また、人が機械と接触してけがをする恐れがあります。

■ パーキングの運転中は操作盤から離れないこと

!**警告**

パーキングの運転が終了するまでは操作盤から離れないでください。

異常、非常事態が発生したときに緊急停止させることができないため、大きな事故につながる恐れがあります。

■ 操作盤に水・雪・油のかからない様にすること、また周囲に腐食性ガス・可燃性ガスがないこと

!**注意**

操作盤に水・雪・油がかかったり、腐食性ガス、可燃性ガスがあると故障となる恐れが有り、パーキングの運転が出来なくなる恐れがあります。

3.1.3 パーキング利用上の注意

■ 車検証で入庫可能サイズ、重量であることを確認すること

⚠ 注意

契約時および車の買い替え時は、車検証の車両重量・車高・車長・車幅を見て、入庫可能車であることを確認してください。

入庫可能サイズ、重量については、4章の「入庫車の条件」を参照してください。

■ パーキング専用キーの取り扱いについて

⚠ 注意

- ・専用キーを汚したり、傷つけたり、折り曲げたりすると使用できなくなります。
大切に保管してください。
- ・専用キーはご自身で使用してください。
他人に貸与すると、トラブルにつながる恐れがあります。
- ・キーホルダーで車のキーと同一に保管はできません。

3.2 災害などの非常事態の対処

火災・地震・浸水などの非常事態が発生したときは、以下の手順で速やかに対処し、管理責任者、またはサービスセンターへ状況を連絡して、その指示にしたがってください。



2次災害の恐れがあるため、運転操作はご遠慮ください。

3.2.1 地震発生時の対処

1. 緊急停止ボタンを押して、パーキングの運転を停止させます。
2. 乗込口に人がいるときは、乗込口から避難させます。

3.2.2 火災発生時の対処

1. 緊急停止ボタンを押して、パーキングの運転を停止させます。
2. 乗込口に人がいるときは、乗込口から避難させます。



オートドアが閉じてしまったとき又は、閉まる途中の場合は、非常口から避難させてください。

オートドアに挟まれる可能性があります。

そのまま乗込口にいると、不燃性ガスにより窒息死する恐れがあります。

3. 乗込口で入出庫中の車は、速やかにパーキング外へ移動させます。
4. 消火設備の取扱いにしたがって、消火活動を行ないます。
5. 鎮火確認後は、庫内の換気を充分に行ない、不燃性ガスを排出させます。



庫内の換気を行なわずに、非常口を開けたり、操作電源等の復旧を行なうと、不燃性ガスの漏出の恐れがあり、窒息死する恐れがあります。

3.2.3 浸水時の対処

1. 緊急停止ボタンを押して、パーキングの運転を停止させます。
2. サービスセンターへ連絡し、指示を受けます。

3.3 乗込口に閉じ込められることのないために

乗込口内に人が残っている状態でオートドアを閉じることは非常に危険です。重大な事故につながります。以下の事項に充分ご注意ください。

3.3.1 人身事故の防止

- パーキングを運転するときやオートドアを閉じるときは、乗込口の無人を目視で確認すること

!**危険**

機種および仕様によっては、オートドア閉完了と同時に、機械が自動的に動く場合もあります。
必ず、乗込口に人がいないことを目視で確認してください。
機械が人と接触し、人身事故が発生する恐れがあります。

- 契約利用者以外の人が乗込口に入室しないこと

!**警告**

契約利用者以外の人が入室すると、乗込口の安全確認がむずかしくなり、同乗者がいるのにオートドアを閉めてしまうなどのトラブルにつながる恐れがあります。
オートドアの前で停止し、同乗者を降車させてください。

- 入庫後は速やかに乗込口から退出すること

!**危険**

不用意に乗込口にとどまったり、荷物の積降ろしをすることは非常に危険です。
次の利用者の操作ミスにより、乗込口内に閉じ込められるなどのトラブルにつながる恐れがあります。

- 乗込口内の壁に設けられた緊急停止ボタンの操作方法を確認すること

!**警告**

万一車の外にいてオートドアが閉じてしまったときは、速やかに緊急停止ボタンを押し、非常口より外へ退出してください。

- 車の中にいてオートドアが閉じてしまった場合には、絶対に車外に出ないようにし、クラクションを鳴らして外部に知らせること

!**危険**

乗込口および駐車室において機械が運転を開始した後に、利用者が車外へ出ることは非常に危険です。
機械との接触等により、人身事故が発生する恐れがあります。

4

入庫車の条件

4. 1 入庫可能サイズ、重量	4-1
4. 1. 1 入庫可能な車のサイズと重量	4-1
4. 2 入庫車に対する制限	4-2
4. 2. 1 制限内容	4-2

4.1 入庫可能サイズ、重量

パーキングに入庫するときは、本章を参照して、車が入庫可能な条件を満たしていることを確認してください。

4.1.1 入庫可能な車のサイズと重量

パーキングに入庫可能な車のサイズ、重量は以下のとおりです。

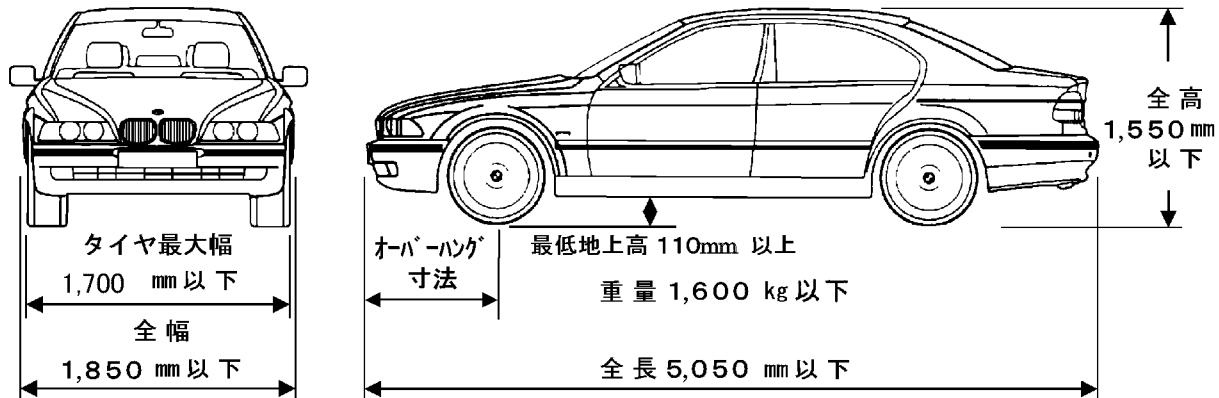
重量は、車両重量にオプションの重量、および積み荷の重量を加えたものです。

車両重量・車高・タイヤ幅・車長・車幅は車検証を参考にしてください。

!**警告**

入庫可能なサイズ・重量を超える車、トラック、軽トラック、二輪車、トレーラ、トラクタ、事故車は絶対に入庫しないでください。

パーキングを運転することができなくなったり、機械と接触して事故が発生する恐れがあります。



!**注意**

車検証やカタログに記載されている高さ寸法は、道路運送車両法 保安基準 一定範囲で±40mmの余裕を認めており、車検証の表示寸法が制限内であっても、実際にはオーバーしていることがあります。実寸でオーバーしている車は入庫できません。

!**注意**

車の全寸法が制限以内でも、タイヤ最大幅がトレーの車路幅を超えていために入庫できない車種があります。

入庫前あるいは、車種変更の場合は必ず事前に確認し、制限寸法を超える車は入庫させないようにご注意下さい。

タイヤ最大幅は、最大トレッド幅(輪距)とタイヤ一本分を加えた寸法で、空気圧による誤差などは考慮しておりません。

!**注意**

タイヤ幅・最低地上高にご注意ください。

タイヤがパンクしたり、ホイールを傷つけたり、車両底部が接触する恐れ、フロントバンパーなどが損傷する恐れがあります。

補足

入庫可能サイズ内でも、フロントオーバーハンジ寸法が長い車は、タイヤが車止めに納まっている位置に停止させても、ボディーがトレーから突出する恐れがあります。

ボディーがトレーからはみ出す車は入庫できません。

4.2 入庫車に対する制限

車が入庫可能な車種（型式）であっても、改造や突起物などにより、サイズ・重量を超えるときがあります。

以下の事項に注意して、入庫が可能であるかを判断してください。

入庫が不可能と判断したときは、突起物などを取り外すか、入庫しないでください。

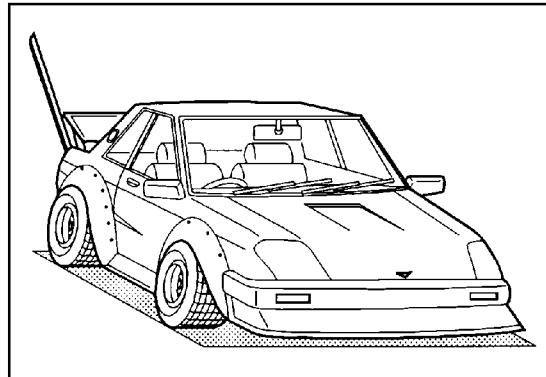
4.2.1 制限内容

■ 市販仕様変更車・改造車

仕様変更・改造により、全高・全長・全幅・重量が入庫可能サイズ、重量を超えるときがあります。また、車高を下げている車は、トレーの床面に接触する恐れがあります。

⚠ 注意

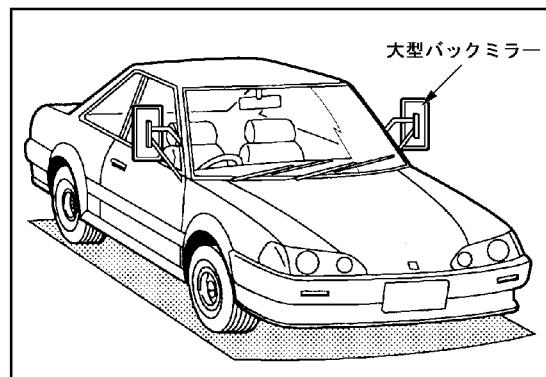
スポーツタイプ車は地上最低高さ（車下面）が一般に低く、入庫時に車下面をトレーにこする場合もあります。ゆっくり徐行し、入庫してください。



■ ドアミラー／フェンダーミラー

全幅、タイヤ外幅が入庫可能なサイズ内でも、ドアミラーやフェンダーミラーがトレーからはみ出す恐れがあります。

ドアミラーを折りたたんで入庫してください。



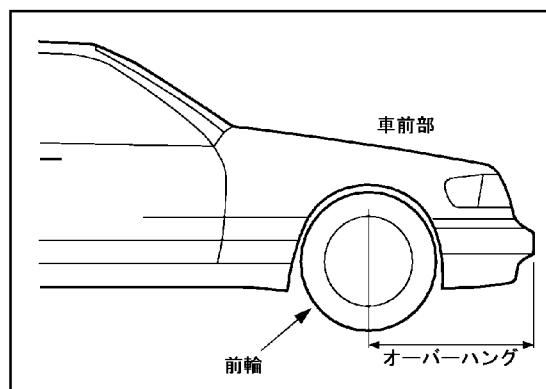
■ フロントオーバーハング寸法

入庫可能サイズ内でも、オーバーハング寸法が長い車は、タイヤが車止めに接する位置に停止させても、ボディがトレーからはみ出す恐れがあります。

ボディがトレーからはみ出す車は入庫できません。

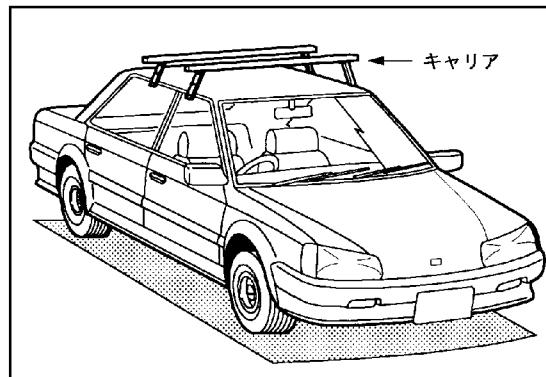
⚠ 注意

アニマルガードバンパー等のフロントガード装着車などは、フロントオーバーハング寸法が長いため、タイヤが車止めに納まっていても前のバンパーがトレーからはみ出すため入庫できません。



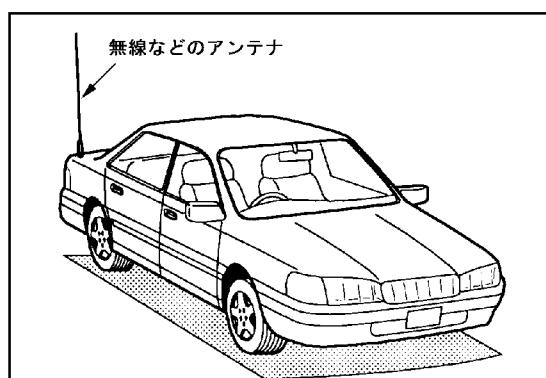
■ キャリア／突起物

キャリアやタクシーの防犯灯、大型バンパー／プロテクタなどの突起物がある車は、入庫状態によってパーキングの運転中に、機械と接触する恐れがあります。取り外すか、入庫しないでください。キャリアや突起物を含めたサイズ、重量が、制限以内であれば、入庫することができます。



■ 無線・自動車電話などのアンテナ

機械と接触してアンテナが折れたり、事故につながる恐れがあります。
アンテナを下げるか、取り外すようにしてください。



■ リモコン操作対応車

リモコンエンジンスターター、ドア・トランク開、ロック施錠／解除、ドアミラー開閉などを行える車は、リモコン操作は必ず車が庫外にあるときか、庫内にあってもオートドアが開いているときに行ってください。

入庫後は、エンジンは切り、トランクは閉じ、ドアロックは施錠し、ドアミラーは折たたんでください。

⚠ 注意

リモコンを誤って操作すると、機械運転中に車が動いたり、トランクやドアミラーが飛び出して、車や機械を破損させる恐れがあります。

⚠ 警告

リモコンエンジンスターターは、MT車には取付できません。暴走する危険性があるので、絶対に使用しないでください。また、リモコンエンジンスターターを装着する場合は、その取扱説明書をお読みください。



■ 盗難防止装置搭載

格納された車両は前後・左右方向へ移動するため、車両に振動を伝達します。
振動・傾きの変化を検出して警報する装置を搭載した車両を格納する場合は、盗難制御装置が作動し、バッテリー上がりを起こす恐れがありますので、システムを解除するか、車両が揺れても警報しないモードへの切り替えを行ってください。

5

入 庫 方 法

5. 1	入庫方法の概要	5-1
5. 1. 1	入庫手順	5-1
5. 2	入庫前の確認	5-2
5. 2. 1	確認事項	5-2
5. 3	トレーの呼び出し	5-4
5. 3. 1	暗証番号呼び出し	5-4
5. 4	乗込口への進入	5-6
5. 4. 1	進入手順	5-6
5. 5	入庫後の確認	5-7
5. 5. 1	確認事項	5-7
5. 6	入庫の完了	5-9
5. 6. 1	暗証番号呼び出しの入庫完了	5-9
5. 6. 2	専用キー取り扱いの注意	5-10
5. 7	音声案内注意放送	5-11
5. 7. 1	音声案内注意放送の種類と内容	5-11

5.1 入庫方法の概要

以下の入庫手順にしたがって、車をパーキングに入庫してください。

5.1.1 入庫手順

入庫前の確認



車を乗込口へ進入する前に、オートドアの前で一旦停止します。
車が入庫可能であることを確認し、入庫する準備などを行います。
詳細は、5.2「入庫前の確認」を参照してください。

トレーの呼び出し



車を入庫するトレーを呼び出します。
パーキングの運転が開始され、呼び出したトレーが駐車室から乗込口に搬送されます。
詳細は、5.3「トレーの呼び出し」を参照してください。

乗込口への進入



車を乗込口に進入させて、トレー上の停車位置に停止します。
詳細は、5.4「乗込口への進入」を参照してください。

入庫後の確認



車をトレー上に停止した後、トレーを駐車室に搬送しても問題がないことなどを確認します。
詳細は、5.5「入庫後の確認」を参照してください。

入庫の完了

オートドアを閉じます。
詳細は、5.6「入庫の完了」を参照してください。

5.2 入庫前の確認

車を乗込ロードへ進入する前に、オートドアの前で一旦停止し、以下の事項を確認してください。

5.2.1 確認事項

1. 4章の「入庫車の条件」を参照して、車が入庫可能車であることを確認します。

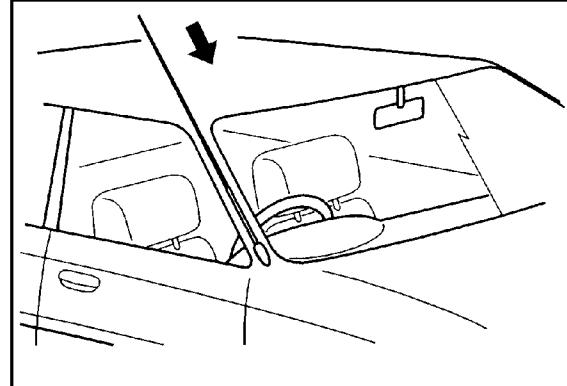
車のサイズ、重量が不明なときは、車検証を参考にしてください。

また、入庫可能サイズ、重量（積み荷等を含む）を超えていたときは、入庫しないでください。

！注意

入庫可能なサイズ、重量を超えていた車を絶対に入庫しないでください。

トレーからのはみ出しにより、パーキングを運転することができなくなります。また、機械と接触して事故が発生する恐れがあります。



2. アンテナが下がっていること。

！注意

アンテナを上げたまま乗込ロードに進入すると、アンテナが入庫車高さ制限板に接触し、パーキングを運転することができなくなります。

また、機械と接触して損傷するなどのトラブルにつながる恐れがあります。

3. 同乗者がいるときは、降車させること。

！警告

契約利用者以外の人が、乗込ロードに入らないようにしてください。

同乗者を乗込ロードで降車させると、安全の確認がむずかしくなり、同乗者が乗込ロードにいるのにオートドアを閉めてしまうなどのトラブルにつながる恐れがあります。

4. 荷物を降ろす必要があるときは、入庫前に降ろすこと。

！警告

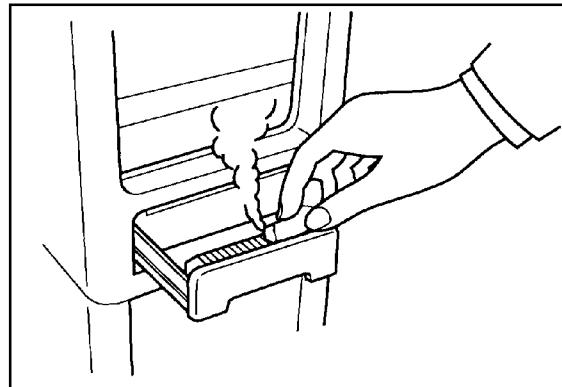
乗込ロードは足場が悪いため、乗込ロードで荷物を降ろすと転倒などによるけがや、ドアの閉め忘れ、荷物の置き忘れにつながる恐れがあります。

また、後部ドアを開けるとドアプロテクターフェンスと接触し、車を傷つけますので後部ドアを開けないでください。

5. タバコを吸っているときは、火を完全に消すこと。

！危険

パーキング内は車とともに多量のガソリンが持ち込まれているため、タバコの火の消し忘れは、火災の発生につながる恐れがあります。

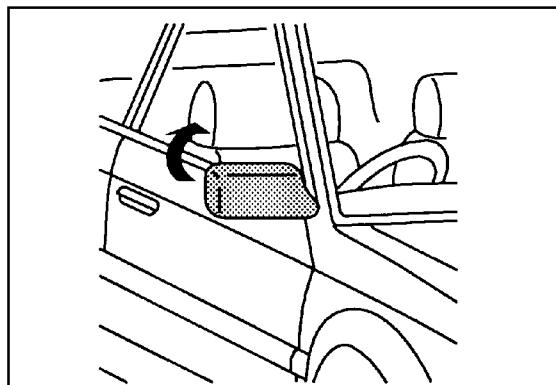


6. 車に雪が積もっているときは、雪を落とすこと。

！注意

雪が積もったまま入庫すると、パーキング内で雪が解け、機械や設備の故障の原因となります。また、パーキングの運転中に雪が車から落ち、パーキングの制御装置が誤検知し、パーキングの運転が停止する恐れがあります。

7. ドアミラーを折りたたむこと。



8. 入庫後は、速やかに乗込口から退室すること。

5.3 トレーの呼び出し

5.3.1 暗証番号呼び出し

本パーキングは、パーキング専用キーで操作できます。

専用キーの取り扱いについては、注意事項にしたがって維持管理してください。

1. オートドアが閉まっていることを確認します。

オートドアが開いているときは、乗込口に人がいないことや障害物がないことを確認後、専用キーを〈入〉→〈切〉してオートドアを閉めてください。

!**危険**

オートドアを閉めるときは、必ず目視で乗込口に人がいないことや障害物がないことを確認してください。機械が人や障害物と接触し、事故が発生する恐れがあります。

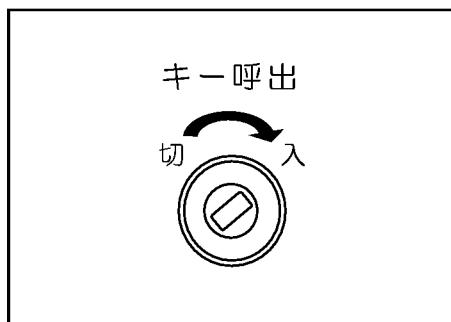
!**注意**

オートドアが開いているときに、操作無しに直接入庫しないでください。

オートドア閉後、呼び出し不能となります。

2. 専用キーを挿入し、〈入〉にします。

「暗証番号を入力して下さい」が表示します。



3. 4桁の暗証番号をゆっくり確実に入力します。

暗証番号

に入力した暗証番号が表示されます。

4. 入力した暗証番号が正しく表示されていることを確認します。

5. 【呼出】を押します。

パーキングの運転が開始されます。

暗証番号を間違って入力すると、

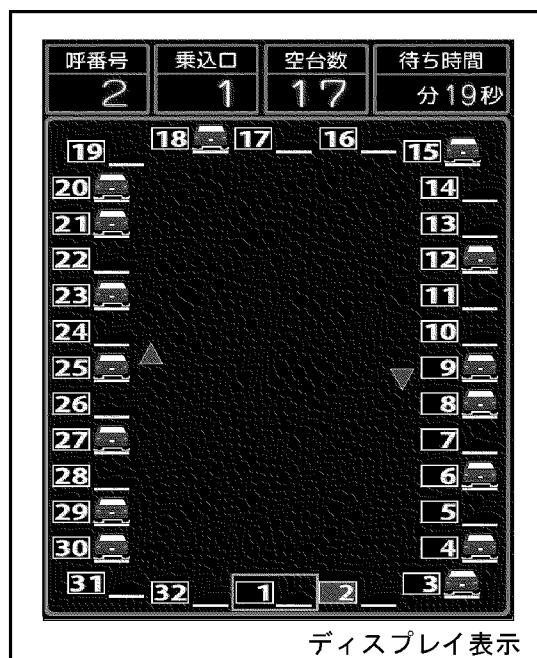
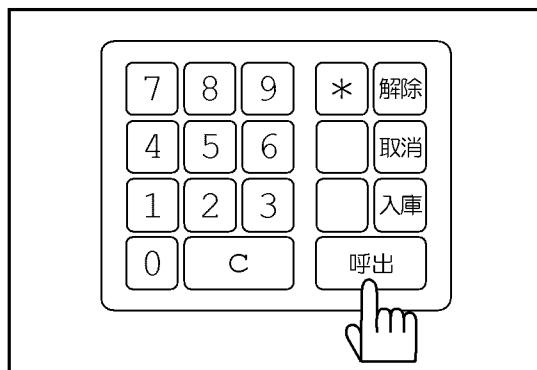
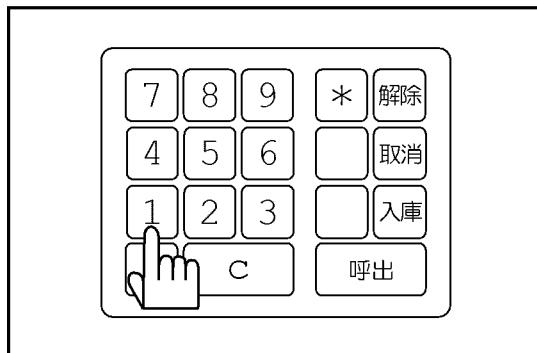
入力された暗証番号が違います。

と表示します。

補 足

運転が開始されると、ディスプレイ部に乗込口に最も近い空きトレー番号が点滅し、おおよその待ち時間が表示されます。

空きトレーが乗込口に着床すると点滅は終わり、オートドアが開きます。



5.4 乗込口への進入

5.4.1 進入手順

1. 入庫案内鏡を見ながら、前進徐行運転で進入させます。

乗込口へ進入すると、自動車位置案内灯の「前進」が点灯します。

！危険

乗込口に進入するときは、必ず徐行運転をさせてください。徐行運転をさせないと、人身事故や衝突事故につながる恐れがあります。

また、トレー内に停車することができず、衝突する恐れがあります。場合によっては車床下面をトレーにぶつける恐れもあります。

トレーの中央にまっすぐ向くように誘導してください。

！注意

進入中にハンドルを大きく切ったり、トレーの中央からずれて進入させると、トレーの縁に乗り上げて、車や設備を損傷する恐れがあります。

！注意

後退で入庫させないでください。

後退で入庫するときに入庫案内鏡や自動車位置案内灯が見えにくくなり、正規に停車させることが難しくなります。また、トレーの中央からずれて進入してしまうことになり、トレーの縁に乗り上げて、車や設備を損傷する恐れがあります。

2. さらに車をゆっくり前進させます。

車の前後左右がトレーからはみ出している位置まで前進すると、自動車位置案内灯の「停止」が点灯します。

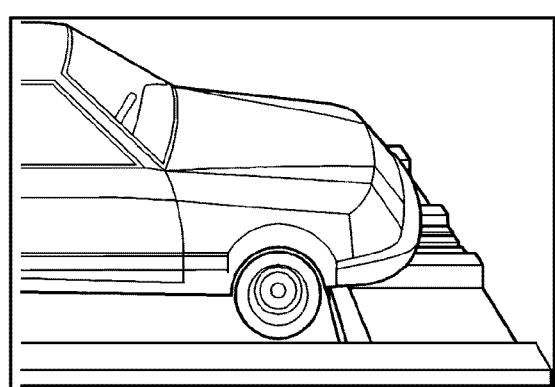
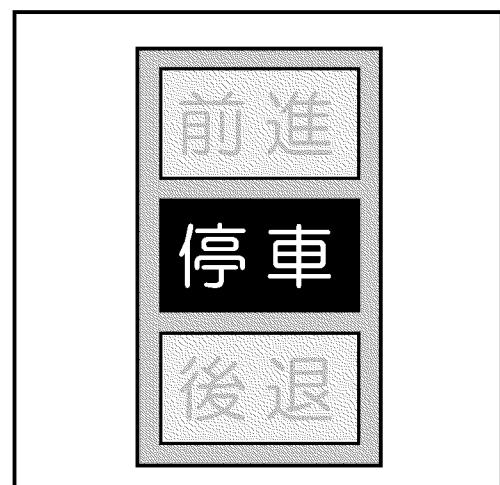
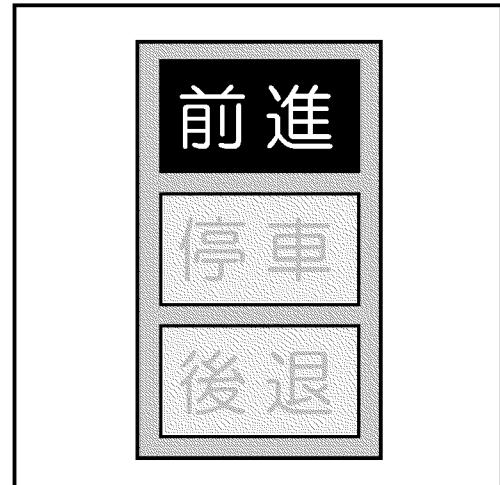
同時に、スピーカからの音声案内により、注意事項が放送されます。(5-11 ページ参照)

自動車位置案内灯の「後退」が点灯したときは、車をバックさせてください。

！注意

車止めより前に停止させないでください。パーキングの運転中に機械と接触して、事故が発生する恐れがあります。

3. トレー上の正規停止位置で車を停止させます。



5.5 入庫後の確認

車をトレー上に停止した後、以下の事項を確認します。

5.5.1 確認事項

- 車の前後左右がトレーからはみ出していないこと。

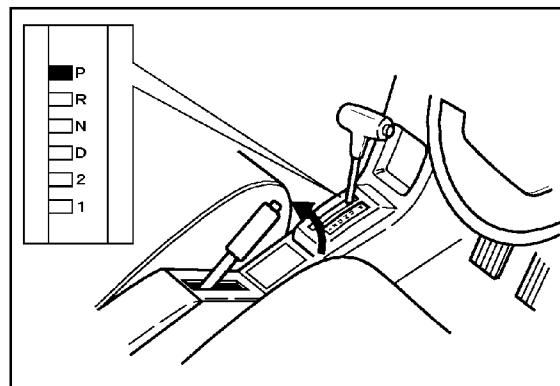
補足

自動車位置案内灯の表示が「サイドブレーキを引きドアを完全に閉めて庫外に出て下さい。」になっていても、車の前後左右がトレーよりはみ出していることがあります。必ず目視にて車の停止位置を確認してください。

- シフトレバーをAT車はPレンジに、MT車はローまたはバックに入れてください。パーキングブレーキ(自動車によって名称や方式が異なる場合があるため、自動車の取扱説明書にてご確認願います。)を完全にかけること。

！警告

パーキングブレーキのききめが充分でないときにギヤをローまたはバック(AT車の場合はPレンジ)に入れておかないと、運転中の振動で車が停止した位置からずれ、機械と接触して機械や車が損傷する恐れがあります。



- エンジンが停止していること。

！危険

エンジンをかけたまま駐車すると、排気ガスがパーキング内に充满し、一酸化炭素中毒や加熱火災が発生する恐れがあります。

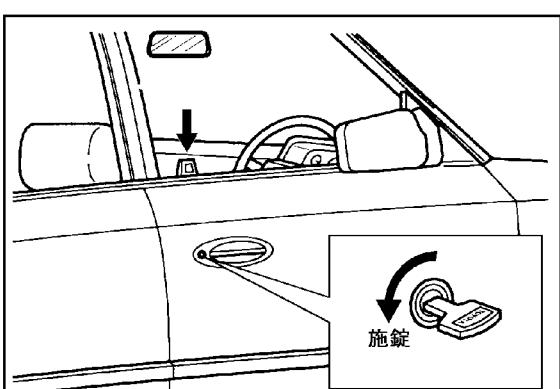
- すべてのドアを確実に閉め、ドアをロックすること。

トランクやボンネットなどが開いている状態を検知することができないため、ドアロックの確認とあわせてトランクなどが開いていないことを確認してください。

！注意

ドアが開いているためにドアプロテクタが起き上がらないときは、パーキングを運転することはできません。

また、パーキングの運転中にドアが開くと、ドアプロテクタに接触して、ドアおよびドアプロテクタが損傷する恐れがあります。



5. 車内に同乗者や動物が置き去りにされていないこと。

⚠危険

同乗者や動物を置き去りにすると、入庫車とともに駐車室に運ばれ、火災や事故、その他の要因で死亡・重傷に至る恐れがあります。

6. 車のルーフやボンネット上、および車の陰に荷物の置き忘れがないこと。

⚠注意

乗込口に荷物を置き忘れたままにすると、光電装置が障害物として検知し、パーキングの運転ができなくなる恐れがあります。

7. すべての事項が確認されたら、速やかに乗込口から退室してください。

乗込口から退室するとき、ドアプロテクタなどの安全装置にぶつかったりしないようにしてください。

⚠注意

ドアプロテクタなどの安全装置にぶつかったりすると、パーキングを運転することができなくなり、故障の原因となります。

つまずいて転倒し、けがをすることがあるため、足元に充分注意して退室してください。

8. 退室後、乗込口に人がいないこと、障害物がないことを再確認します。

⚠危険

必ず目視で乗込口に人がいないこと、障害物がないことを確認してください。

パーキングの運転中、機械が人や障害物と接触して、事故が発生する恐れがあります。

5.6 入庫の完了

5.6.1 暗証番号呼び出しの入庫完了

1. 専用キーを〈切〉にします。

オートドアが閉まり、ブザーが作動します。



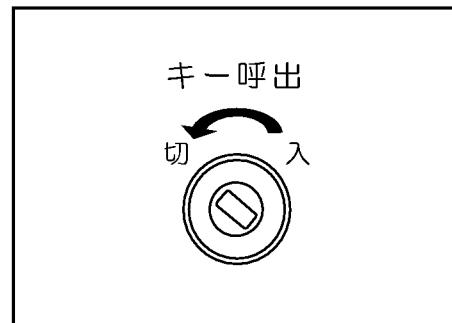
オートドアが閉まる途中に、人が乗込口へ入らない
ようにしてください。

機械が人と接触し、事故が発生する恐れがあります。



ディスプレイの **安全確認** が点滅しているときは、

オートドアが閉まりません。人が庫内にいるかまたは障害物が庫内にあります。庫内に人がいなく、障害物もない場合は一番手前の光電管を1回遮ってください。



2. オートドアが完全に閉まったことを確認します。



オートドアが閉まる途中または閉まりきったときに、
乗込口内の人や障害物の検知あるいは、その他の安全装置が作動すると、再度オートドアが開きます。
このような場合には、8章の「運転不能時の対処」
を参考に、その原因を取り除き、再度専用キーを
〈入〉→〈切〉してオートドアを閉じてください。

3. 専用キーを抜き取ります。

専用キーを忘れないようにしてください。

5.6.2 専用キー取り扱い上の注意

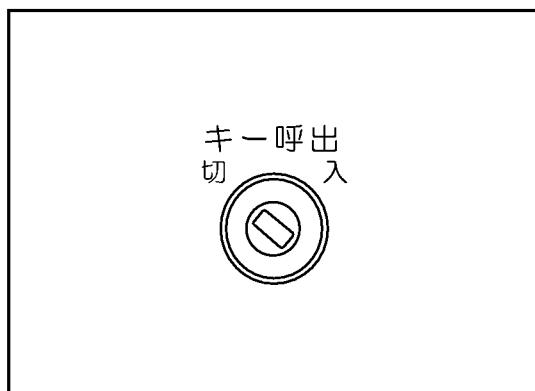
1. 専用キーは〈入〉の状態では抜けません。

無理やり抜くとキースイッチが破損します。必ず〈切〉にしてから抜いてください。

2. 専用キーの複製は止めてください。

複製キーを使用するとキースイッチの摩耗破損の原因となりパーキングの故障につながります。

専用キーの再取得は、弊社サービスセンターへご相談ください。



5.7 音声案内注意放送

乗込口における安全の確認、及び入庫不良等の案内放送のために音声注意放送が設備されています。

5.7.1 音声案内注意放送の種類と内容

1. 自動車がトレーに乗り込み、正規の位置にて停止したとき。

「シフトレバーはパーキングに入れてください。またはギヤはバックに入れ、パーキングブレーキを完全にかけてください。車のドア・トランクは確実に閉め、必ずエンジンを停止させてください。アンテナを下げてください。もう一度お確かめください。」

2. 自動車出庫完了後、次の操作をせずに、連続して入庫しようとした場合。

「入庫できません。オートドアを閉じ、再呼び出ししてください。」

3. 入出庫後、運転者が庫外へ出たときのオートドア閉操作を行うとき。

「庫内の安全を確かめて、オートドアを閉じてください。」

4. 暗証番号を3回連続して誤入力した場合。

「お客様の個別番号は登録されていません。もう一度お確かめください。」

5. 車の半ドアを検出した場合。

「車のドアが開いています。閉めてください。」

6. 異常が発生した場合。

「異常です。係員か、サービスセンターにご連絡ください。」

7. パーキングの入庫運転が開始されたとき。

「入庫の前に同乗者の方は降りてください。荷物は降ろしてください。お車の大きさをお確かめください。アンテナを下げ、ドアミラーをたたんでください。オートドアが開いたら、前進でゆっくりお入りください。」

8. 車の入出庫完了後、人が長時間乗込口内にいる場合。

「入出庫完了後、速やかに外に出てください。」

9. オートドアが閉まる途中に、乗込口内の人や障害物を検出した場合。

「お車の位置をお確かめください。前後左右飛び出していますか。」

10. 長さオーバーを検出した場合。

「車長オーバーです。入庫できません。」

6 出 庫 方 法

6. 1	出庫方法の概要	6-1
6. 1. 1	出庫手順	6-1
6. 2	トレーの呼び出し	6-2
6. 2. 1	暗証番号呼び出し	6-2
6. 3	パーキング外への退出	6-4
6. 3. 1	退出手順	6-4
6. 4	車の方向変換	6-5
6. 4. 1	ターンテーブルの操作	6-5
6. 5	出庫の完了	6-6
6. 5. 1	暗証番号呼び出しの出庫完了	6-6

6.1 出庫方法の概要

以下の出庫手順にしたがって、パーキングから出庫してください。

6.1.1 出庫手順

トレーの呼び出し



車を出庫するトレーを呼び出します。
パーキングの運転が開始され、呼び出したトレーが駐車室から乗込口に搬送されます。
詳細は、6.2「トレーの呼び出し」を参照してください。

パーキング外への退出



車を乗込口から外に移動します。
詳細は、6.3「パーキング外への退出」を参照してください。

車の方向変換



ターンテーブルを作動させて、車を方向変換させます。
詳細は、6.4「車の方向変換」を参照してください。

出庫の完了

オートドアを閉じます。
詳細は、6.5「出庫の完了」を参照してください。

6.2 トレーの呼び出し

6.2.1 暗証番号呼び出し

本パーキングは、パーキング専用キーで操作できます。

専用キーの取り扱いについては、注意事項にしたがって維持管理してください。

1. オートドアが閉まっていることを確認します。

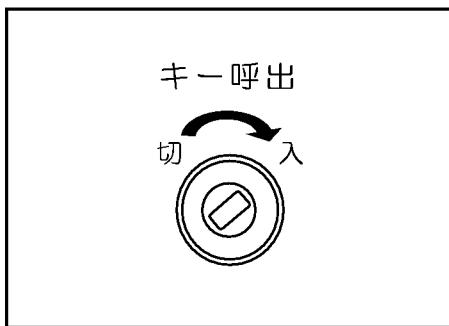
オートドアが開いているときは、乗込口に人がいないことや障害物がないことを確認後、専用キーを〈入〉→〈切〉してオートドアを閉めてください。



オートドアを閉めるときは、必ず目視で乗込口に人がいないことや障害物がないことを確認してください。機械が人や障害物と接触し、事故が発生する恐れがあります。

2. 専用キーを挿入し、〈入〉にします。

「暗証番号を入力して下さい」が表示します。



3. 4桁の暗証番号をゆっくり確実に入力します。

暗証番号

に入力した暗証番号が表示されます。

4. 入力した暗証番号が正しく表示されていることを確認します。

5. 【呼出】を押します。

パーキングの運転が開始されます。

暗証番号を間違って入力すると、

入力された暗証番号が違います。

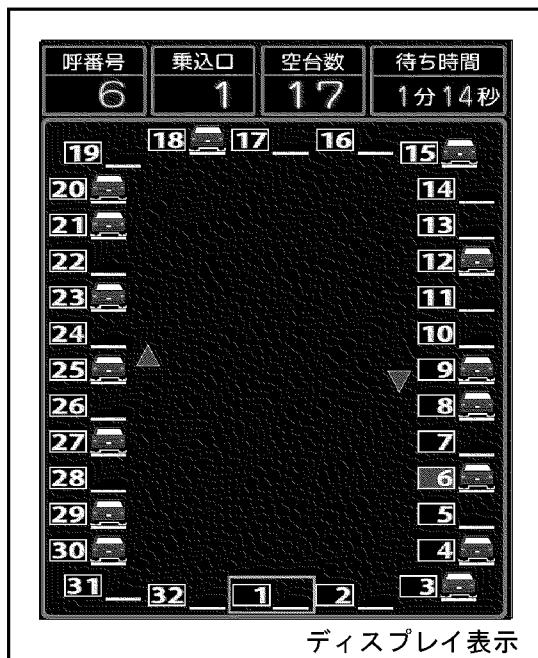
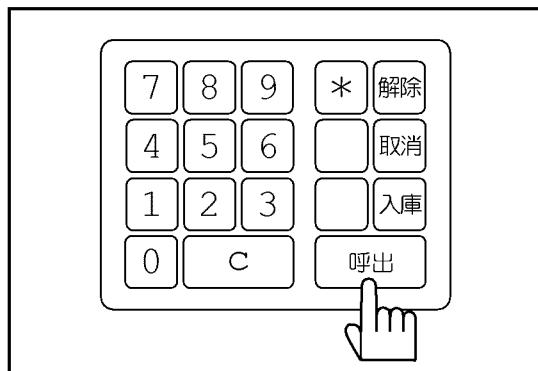
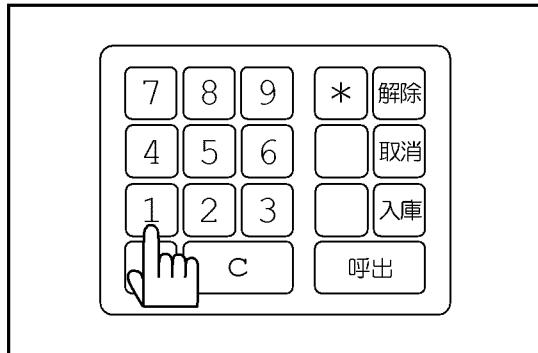
と

表示します。

補 足

運転が開始されると、ディスプレイ部に呼び出すトレーパー番号が点滅し、およその待ち時間が表示されます。

呼び出しトレーが乗込口に着床すると点滅は終わり、オートドアが開きます。



6.3 パーキング外への退出

車を乗込口から外へ移動してください。

6.3.1 退出手順

1. オートドア付近に、人や障害物がないことを確認します。

2. 乗込口に入室し、車に乗り込みます。

！危険

契約利用者以外の人を入室させないでください。

同乗者が乗込口にいると、オートドアを閉めて閉じ込めてしまうなどのトラブルにつながる恐れがあります。同乗者は、車を外へ移動した後に乗車されるようにしてください。

3. 徐行運転で乗込口から出庫します。

ハンドルを切らずに、まっすぐ出庫してください。

！危険

乗込口から出庫するときは、必ず徐行運転をしてください。

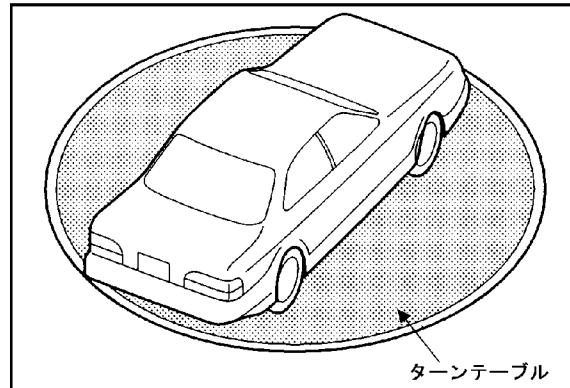
徐行運転をしないと、人身事故や衝突事故につながる恐れがあります。

また、ターンテーブル内に停車することができず、衝突する恐れがあります。

！注意

出庫中にハンドルを大きく切ると、トレーの縁に乗り上げて、車や設備を損傷する恐れがあります。

4. ターンテーブルの中央に車を停止させます。



5. すべてのタイヤがターンテーブル上に載っていることを確認します。

！注意

タイヤがターンテーブルからはみ出しているときは、
はみ出さない位置に停止させてください。

タイヤがはみ出したままターンテーブルを回転させると、車が壁面に接触するなどの事故が発生する恐れがあります。

6.4 車の方向変換

ターンテーブルで車の方向を変換します。

6.4.1 ターンテーブルの操作

専用キーを〈入〉のままでターンテーブルを操作してください。

専用キーを〈切〉にした後では、ターンテーブルの操作はできません。

1. ターンテーブルのまわりに人や障害物がないことを確認します。

！警告

必ず、ターンテーブルのまわりに人や障害物がないことを確認してください。

人や障害物が巻き込まれたり、車が損傷するなどのトラブルが発生する恐れがあります。

ターンテーブル回転中は必ずブレーキをかけてください。

2. ターンテーブル【右】または【左】を押します。

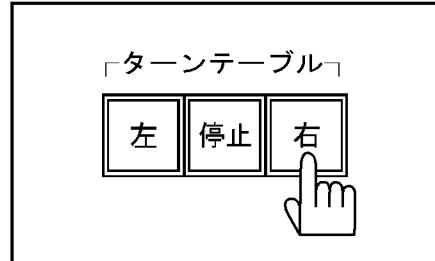
ターンテーブルが回転し、自動的に停止します。

ターンテーブルの回転を途中で停止させるときは、

【停止】を押してください。

！注意

回転中のターンテーブルに人が立ち入ったり車が壁面と接触しないように車の動きを確認するなどの危険防止のため、ターンテーブルの回転中は、いつでも【停止】を押して停止させることができるようにしておいてください。



3. ターンテーブルの停止後、同乗者の乗車や積み荷を指示します。

6.5 出庫の完了

6.5.1 暗証番号呼び出しの出庫完了

1. 専用キーを〈切〉にします。

オートドアが閉まり、ブザーが作動します。

!**危険**

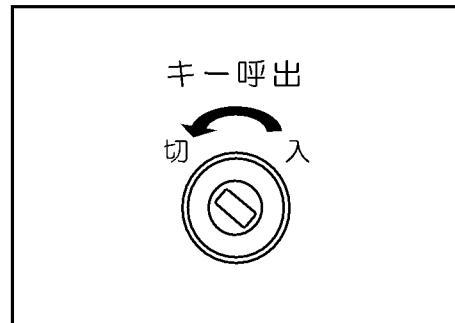
オートドアが閉まる途中に、人が乗込口へ入らない
ようにしてください。

機械が人と接触し、事故が発生する恐れがあります。

!**注意**

ディスプレイの **安全確認** が点滅しているときは、

オートドアが閉まりません。人が庫内にいるかまた
は障害物が庫内にあります。庫内に人がいなく、障
害物もない場合は一番手前の光電管を1回遮ってく
ださい。



2. オートドアが完全に閉まったこと を確認します。

!**注意**

オートドアが閉まる途中または閉まりきったときに、
乗込口内の人や障害物の検知あるいは、その他の安
全装置が作動すると、再度オートドアが開きます。
このような場合には、8章の「運転不能時の対処」
を参考に、その原因を取り除き、再度専用キーを
〈入〉→〈切〉してオートドアを閉じてください。

3. 専用キーを抜き取ります。

専用キーを忘れないようにしてください。

7

運転の取消

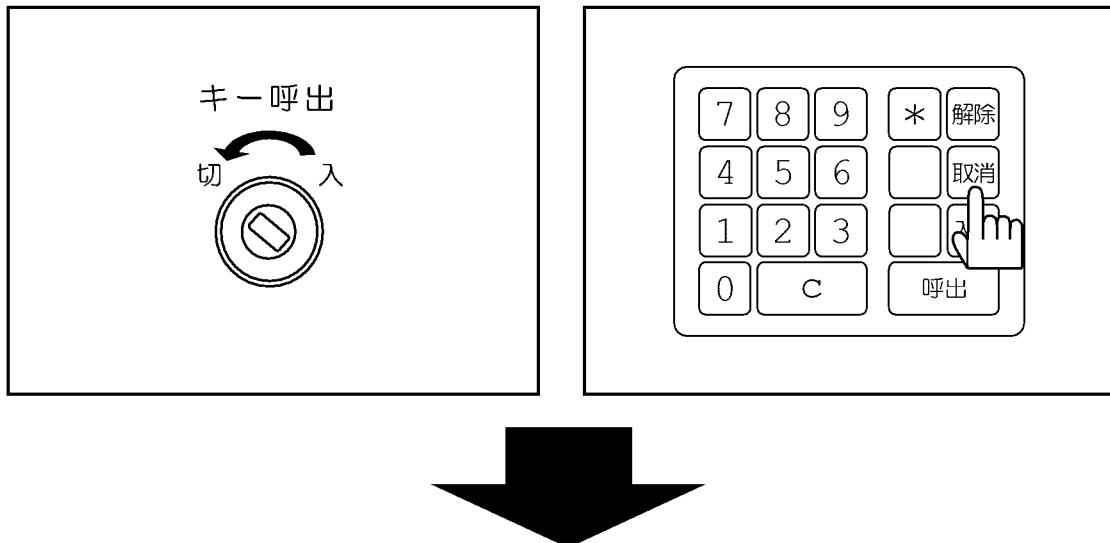
7.1 入出庫運転の取消	7-1
7.1.1 暗証番号呼び出し運転の取消操作	7-1

7.1 入出庫運転の取消

入庫あるいは出庫時の呼出運転を途中で取り止めるときの操作です。

7.1.1 暗証番号呼び出し運転の取消操作

- 専用キーを〈切〉にします。または、テンキーの【取消】を押します。



- パーキングが取消を受け付けると、呼出運転が取り消されます。



8

運転不能時の対処

8. 1	最初の確認事項	8-1
8. 1. 1	操作盤の表示の確認	8-1
8. 2	異常発生時の運転不能への対処	8-2
8. 2. 1	対処方法	8-2
8. 3	緊急停止ボタンを押したときの対処	8-3
8. 3. 1	対処方法	8-3
8. 4	エラー表示への対処	8-4
8. 4. 1	復旧可能なエラー表示への対処	8-4

8.1 最初の確認事項

パーキングの運転不能時の対処方法には、サービスエンジニアによる復旧が必要な場合と、利用者による復旧が可能な場合とに分かれます。

そのための判断として、操作盤のディスプレイの表示を必ず確認してください。

8.1.1 操作盤の表示の確認

- 異常画面が表示されている場合、利用者による復旧は不可能です。速やかにサービスセンターまで連絡してください。

サービスセンターの連絡先は、最終頁に記載されています。

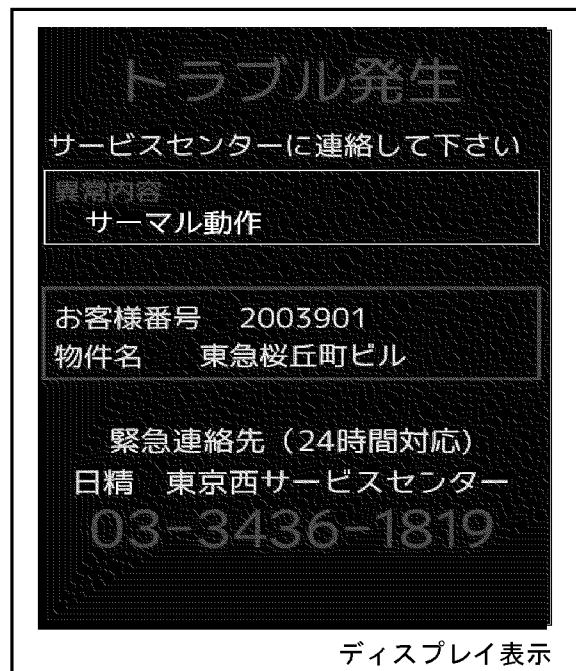
⚠ 注意

サービスエンジニアが到着するまで、乗込ロへ入らないでください。

また、操作盤にも触れないようにしてください。

⚠ 注意

表示されている異常内容を記録してください。
異常や故障の原因解明の役に立ちます。



- 異常画面が表示していない場合、利用者による復旧が可能です。

8.4.1 「復旧可能なエラー表示への対処」を参照してください。

8.2 異常発生時の運転不能への対処

パーキングの運転中に非常口が開いたり、機械の異常により緊急停止したときは、速やかにサービスセンターまで連絡してください。

8.2.1 対処方法

1. トラブル発生が表示されていることを確認します。

2. 速やかにサービスセンターへ連絡します。

⚠ 注意

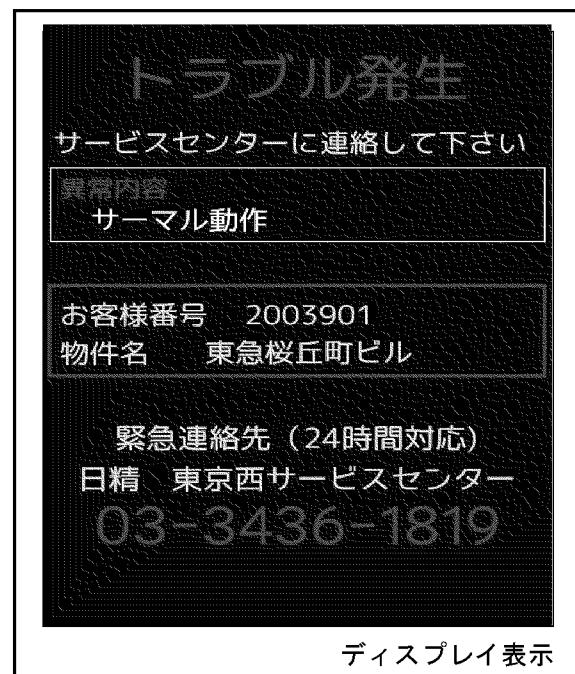
サービスエンジニアが到着するまで、乗込ロへ入らないでください。

また、操作盤にも触れないようにしてください。

補 足

異常発生による緊急停止のときは、次の音声案内注意放送が流れます。

「異常です。係員か、サービスセンターにご連絡ください。」



8.3 緊急停止ボタンを押したときの対処

操作盤または乗込口に設置されている緊急停止ボタンを押すと操作電源が切れ、機械は即時停止します。操作盤ディスプレイに異常表示が表示されていることを確認してください。

8.3.1 対処方法

1. 速やかにサービスセンターへ連絡します。

機械は中途で停止している為、サービス員による復旧が必要となります。
緊急停止ボタンを押したときの状況も、合わせて連絡してください。

2. 乗込口やオートドア付近の安全を確認します。

乗込口やオートドアのまわりに人や障害物がないことを目視で確認してください。

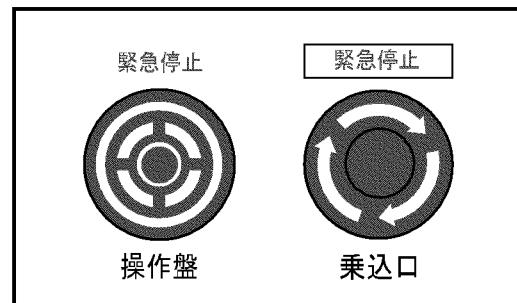
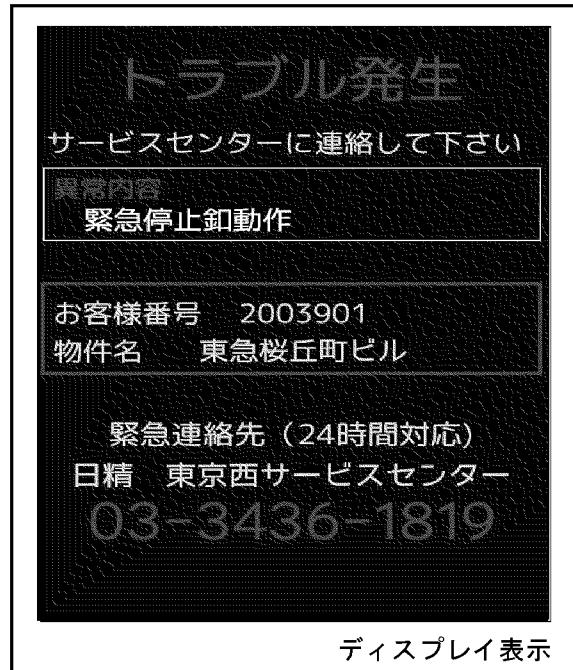
△注意

むやみに操作すると機械の故障につながるため、安易に手を触れないでください。

補足

緊急停止ボタンを押したときは、次の音声案内注意放送が流れます。

「異常です。係員か、サービスセンターにご連絡ください。」



8.4 エラー表示への対処

機械の異常や操作ミスが発生したとき、エラー表示が操作盤のディスプレイ部に表示されます。エラー表示により、パーキングの状態を把握することができます。

エラー表示は、異常の内容により復旧できるときと、サービスセンターへ連絡する必要があるときがあります。

8.4.1 復旧可能な入庫不良への対処

■ ディスプレイに画面①や②を表示したとき

車体がトレーから前後にはみ出している場合または人や障害物を検知した場合に表示されます。原因を取り除くまでは、パーキングの運転ができない状態になります。

〈対処方法〉

1. 人を退出させます。また、障害物を取り除きます。

エラー表示が消灯し、パーキングの機能が復旧します。

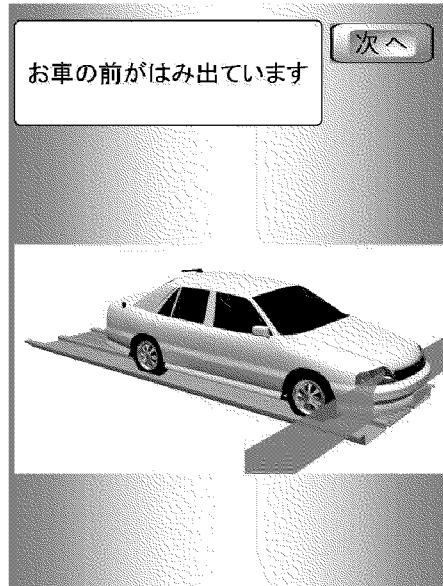
2. 乗込口とオートドアのまわりに人や障害物がないことを確認します。

3. オートドアを閉じます。

！危険

入庫可能なサイズを超える車を入庫すると、パーキングの運転中に機械と接触して事故が発生する恐れがあります。

〈画面①〉



ディスプレイ表示

〈画面②〉



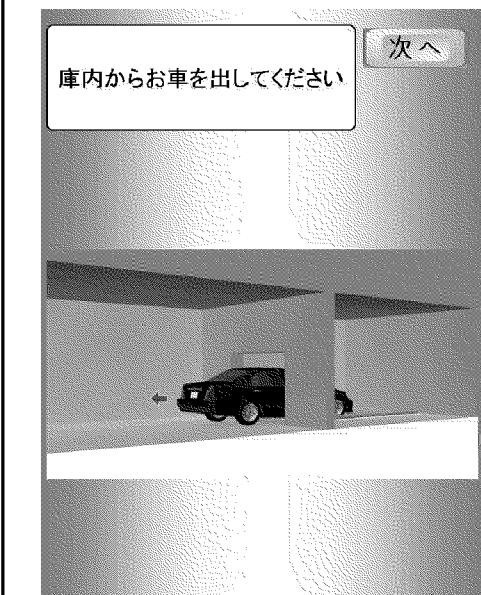
ディスプレイ表示

■ ディスプレイに画面③を表示したとき

暗証番号呼び出し方式選択時、自動車が出庫した後に再度入庫したときに、パーキングの運転ができない状態になります。

〈対処方法〉

1. 入庫車を入庫させずに庫外へ出します。
エラー表示が消灯し、パーキングの機能が復旧します。
2. 乗込口とオートドアのまわりに人や障害物がないことを確認します。
3. オートドアを閉じます。

【画面③】

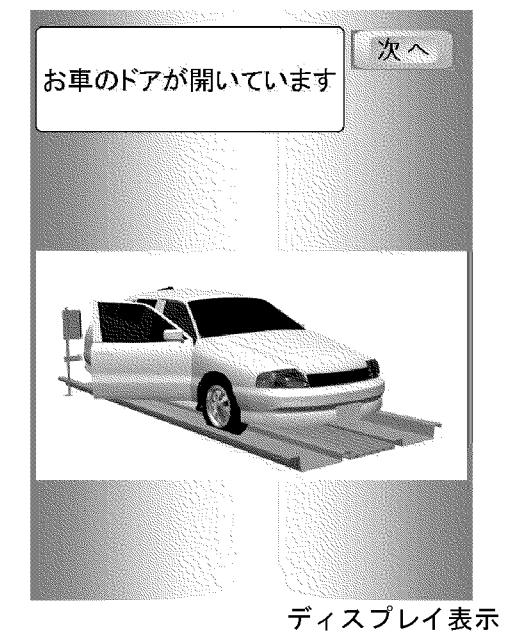
■ ディスプレイに画面④を表示したとき

パーキングの運転（オートドア閉）を開始したとき、車の右側ドアが開いたままの状態を検知すると、オートドアを反転させます。また、パーキングの運転ができない状態になります。

〈対処方法〉

1. 車のドアを閉めます。
パーキングの機能が復旧します。
2. 乗込口とオートドアのまわりに人や障害物がないことを確認します。
3. オートドアを閉じます。

【画面④】



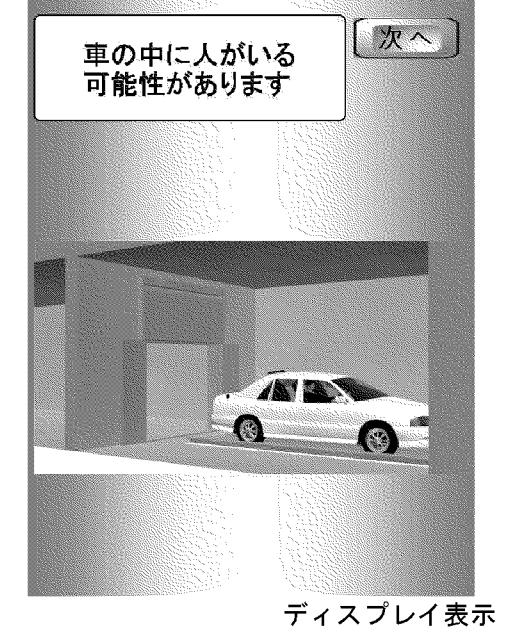
■ ディスプレイに画面⑤を表示したとき

オートドアが閉まっているときに、乗込口に人や障害物があることを検知すると、オートドアが開きます。また、パーキングの運転ができない状態になります。

〈対処方法〉

1. 人を退出させます。また、障害物を取り除きます。
2. 乗込口とオートドアのまわりに人や障害物がないことを確認します。
3. オートドアを閉じます。
エラー表示が消灯し、パーキングの機能が復旧します。

【画面⑤】



■ ディスプレイに画面⑥を表示したとき

入庫可能な車長制限寸法を超えている車の進入を検知すると、パーキングの運転ができない状態になります。

〈対処方法〉

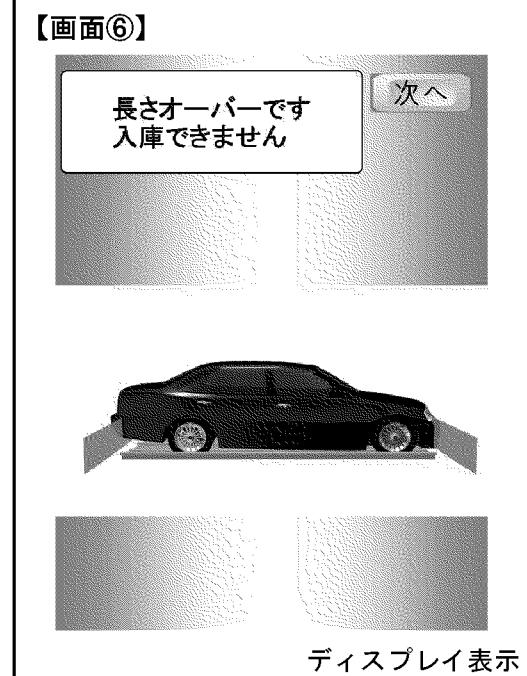
1. その車を入庫させずに庫外へ出します。
エラー表示が消灯し、パーキングの機能が復旧します。
2. 乗込口とオートドアのまわりに人や障害物がないことを確認します。
3. オートドアを閉じます。

！危険

入庫可能なサイズを超える車を入庫すると、パーキングの運転中に機械と接触して事故が発生する恐れがあります。

補 足

車の入庫時に人が庫内に入り誤って光電装置の光を遮ると、車長制限オーバーを検知します。車を一旦外へ出してから再入庫してください。



故障などの連絡、お問い合わせについては、下記サービスセンターに件名と型式、状況などをお知らせください。

東京西サービスセンター
TEL 03(3436)1819

お客様番号	2 0 0 3 9 0 1
名 称	東 急 横 丘 町 ビ ル
発 行	2 0 1 5 年 1 月 1 3 日
型 式	M G U S 3 - 3 2 (T)